

ウォーターPPP 導入可能性調査 アンケート調査

アンケート実施要領

令和 7 年 9 月

長野県佐久市

目次

はじめに：本調査の位置づけ	1
1 官民連携の導入に関する基本的な考え方	2
1.1 導入目的と期待する効果	2
1.2 導入スケジュール（案）	2
1.3 導入事業及び対象施設の概要	2
2 導入検討対象施設	3
2.1 佐久市公共下水道事業の概要	3
2.2 管路の対象施設	7
2.3 処理場等の対象施設	9
2.4 農業集落排水、小規模、コミュニティ・プラントの対象施設	21
3 業務の定義及び想定数量	40
3.1 管路施設の想定数量	40
3.2 処理場等の想定数量	42
3.3 集排等（農集・小規模・コミュニティ・プラント）の想定数量	44
4 支援型/実施型における更新事業フロー（案）	45

はじめに：本調査の位置づけ

本参考資料は、ウォーターPPP等の官民連携事業に関する導入可能性を検討する過程で実施する意見聴取のために作成されたものであり、官民連携の実施自体や実施方法に関して現時点で確定している事項はありません。また、今後の佐久市におけるウォーターPPPの導入の可能性を含め、いかなる発注、計画等が行われることを保証するものではありません。本資料の内容につきましては、貴社のご判断に基づき、ご活用頂きますようお願いいたします。

佐久市及びその職員は、貴社が、本調査（アンケートおよびインタビュー）について検討する過程において、本参考資料に書かれている情報や、それ以外に書面や口頭で提供された情報を使用したことによって発生したいかなる結果について、責任を負うものではありません。本調査に際しては、貴社における資料等の精査及び検討の結果等を踏まえ、貴社ご自身の責任でご判断頂きますようお願いいたします。

1 官民連携の導入に関する基本的な考え方

佐久市では令和6年度からウォーターPPP等の官民連携手法の導入検討にあたり、課題整理、スキーム検討、効果分析等を通じて導入検討に向けた準備を実施しています。

本アンケートは民間事業者の参入意欲や官民連携における業務内容に対する意見や参画にあたっての課題を把握するために実施するものです。

1.1 導入目的と期待する効果

佐久市では、公共下水道事業の持続可能性を維持・向上させることを目的とし、以下に示す効果を期待し、官民連携の導入を目指しております。

- (1) 維持管理業務の包括化、性能規定の導入により、民間事業者の創意工夫を積極的に取り入れ、事務・事業全体の効率化や高度化を実現
- (2) 契約期間の長期化により、官・民双方の契約事務の低減を図ると共に、長期的な視点に立った施設運営の実施
- (3) 維持管理と更新の一体的なマネジメントにより、施設の改築更新の最適化によるライフサイクルコストを低減

1.2 導入スケジュール（案）

R8年度：事業公募

R9年度：事業者選定

R10年度：事業開始

1.3 導入事業及び対象施設の概要

本市においてウォーターPPPの導入を想定する事業は、以下に示す事業である。

◆事業名

（公共）公共下水道事業（供用開始年月日：昭和57年8月1日）

（特環）特定環境保全公共下水道事業（供用開始年月日：平成8年3月28日）

（農集）農業集落排水事業（供用開始年月日：平成元年6月1日）

（小規模）小規模集合排水処理事業（供用開始年月日：平成11年4月1日）

（コミプラ）コミュニティ・プラント事業（供用開始年月日：平成6年7月1日）

対象施設は、佐久市が管理運営している下水道事業の施設のうち、処理場施設、ポンプ場施設、マンホールポンプ施設及び管路施設を主要な対象とする。

- ・処理場施設：14箇所（公共1、特環3、農集8、小規模1、コミプラ1）
- ・ポンプ場施設：3箇所（公共2、特環1、農集0、小規模0、コミプラ0）
- ・マンホールポンプ施設：210箇所（公共105、特環88、農集17、小規模0、コミプラ0）
- ・管路施設：汚水管路延長703.0km
（公共499.0km、特環136.8km、農集63.8km、小規模1.0km、コミプラ2.4km）

2 導入検討対象施設

2.1 佐久市公共下水道事業の概要

佐久市の下水道事業は佐久下水道組合が事業体となり、昭和 48 年に旧佐久市と旧臼田町の中心市街地から公共下水道事業に着手し、昭和 57 年に供用開始となった。

旧浅科村、旧望月町でも特定環境保全公共下水道事業として、平成 3 年度に浅科地区（旧浅科村）平成 4 年度に望月地区（旧望月町）平成 6 年度には春日地区（旧望月町）においてそれぞれ事業に着手し、平成 11 年度までには 3 地区すべて供用開始となっている。

また、農業集落排水事業については昭和 59 年度に志賀地区の事業着手を皮切りに順次着手し、12 地区で供用開始している。

なお、平成 17 年度の 4 市町村の合併による“新佐久市”の誕生に伴い、佐久下水道組合及び旧市町村の所管する下水道事業は佐久市に引き継がれている。

表 2.1 下水道事業の事業区分

（令和 6 年 4 月 1 日現在）

	着手年度	供用開始年月日	経過 年数	最大 処理能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	令和5年度 処理実績 ($\text{m}^3/\text{日}$)	稼働 率 (%)	統廃合 予定
○公共下水道事業							
臼田・野沢・ 中込・岩村田 地区	昭和48年	昭和57年8月	41	27,300	21,088	77.2	
○特定環境保全公共下水道事業							
浅科地区	平成3年	平成8年3月	28	2,680	1,107	41.3	
望月地区	平成4年	平成9年10月	26	2,000	776	38.8	
春日地区	平成6年	平成11年4月	25	800	418	52.3	H19特環望月へ
○農業集落排水事業							
志賀地区	昭和59年	平成元年6月	34	432	211	48.8	
南岩尾地区	昭和60年	平成元年7月	34	138	69	50.0	
常和地区	昭和63年	平成2年7月	33	165	85	51.5	R 11公共へ
横根地区	平成元年	平成3年7月	32	103	47	45.6	
布施地区	平成7年	平成9年11月	26	443	258	58.2	R 16特環浅科へ
北岩尾・落合 地区	平成8年	平成11年11月	24	225	73	32.4	
岸野地区	平成9年	平成12年11月	23	716	304	42.5	
上平尾地区	平成14年	平成16年11月	19	216	124	57.4	R 13公共へ
○小規模集合排水処理事業							
藤巻地区	平成8年	平成11年4月	25	14	10	71.4	
○コミュニティ・プラント							
平井地区	平成4年	平成6年7月	29	105	47	44.8	R 10農集岸野へ

表 2.2 対象施設 (1/3)

事業区分		公共下水道	特定環境保全公共下水道		
処理区名		佐久処理区	望月処理区	春日処理区	浅科処理区
処理場 施設	処理場 施設名	佐久市下水道 管理センター	望月浄化 センター	春日浄化 センター	浅科浄化 センター
	汚水処理 方式	標準活性 汚泥法	OD 法	OD 法	OD 法
	汚泥処理 方式	濃縮→脱水	濃縮	濃縮	濃縮→脱水
	現有処理 能力	25,023m ³ /日	2,000m ³ /日	800m ³ /日	2,680m ³ /日
ポンプ場		2 箇所	1 箇所	—	—
管路		499km(分流) 8.6km(雨水)	53.5km(分流)	30.5km(分流)	52.8km(分流)
マンホールポンプ		105 箇所	29 箇所	7 箇所	39 箇所

表 2.3 対象施設 (2/3)

事業区分		農業集落排水				
地区名		志賀	佐久中部 (南岩尾)	平賀 (常和)	横根	北岩尾・落 合
処理場 施設	処理場 施設名	志賀 処理場	南岩尾 処理場	常和 処理場	横根 処理場	北岩尾・落 合処理場
	汚水処理 方式	OD 法	JARUSⅢ	JARUSⅢ	JARUSⅤ	JARUSⅢ
	汚泥処理 方式	濃縮	濃縮	濃縮	濃縮	濃縮
	現有処理 能力	432m ³ /日	138m ³ /日	165m ³ /日	103m ³ /日	225m ³ /日
管路		9.2km	3.3km	3.9km	2.7km	3.6km
マンホールポンプ		1 箇所	—	—	—	1 箇所

出典：市提供資料より

表 2.4 対象施設 (3/3)

事業区分		農業集落排水			小規模	コミプラ
地区名		岸野	上平尾	布施	藤巻	平井
処理場 施設	処理場 施設名	岸野 処理場	上平尾 処理場	布施 処理場	藤巻 処理場	平井 処理場
	汚水処理 方式	JARUSX I	JARUSX IV	JARUSX I	沈殿分離 接触ばっ気	回分式 活性汚泥
	汚泥処理 方式	濃縮	濃縮	濃縮	濃縮	濃縮
	現有処理 能力	716m ³ /日	216m ³ /日	443m ³ /日	14m ³ /日	105m ³ /日
管路		13.9km	4.9km	22.3km	1.0km	2.4km
マンホールポンプ		4 箇所	2 箇所	8 箇所	—	—

佐久市排水施設図

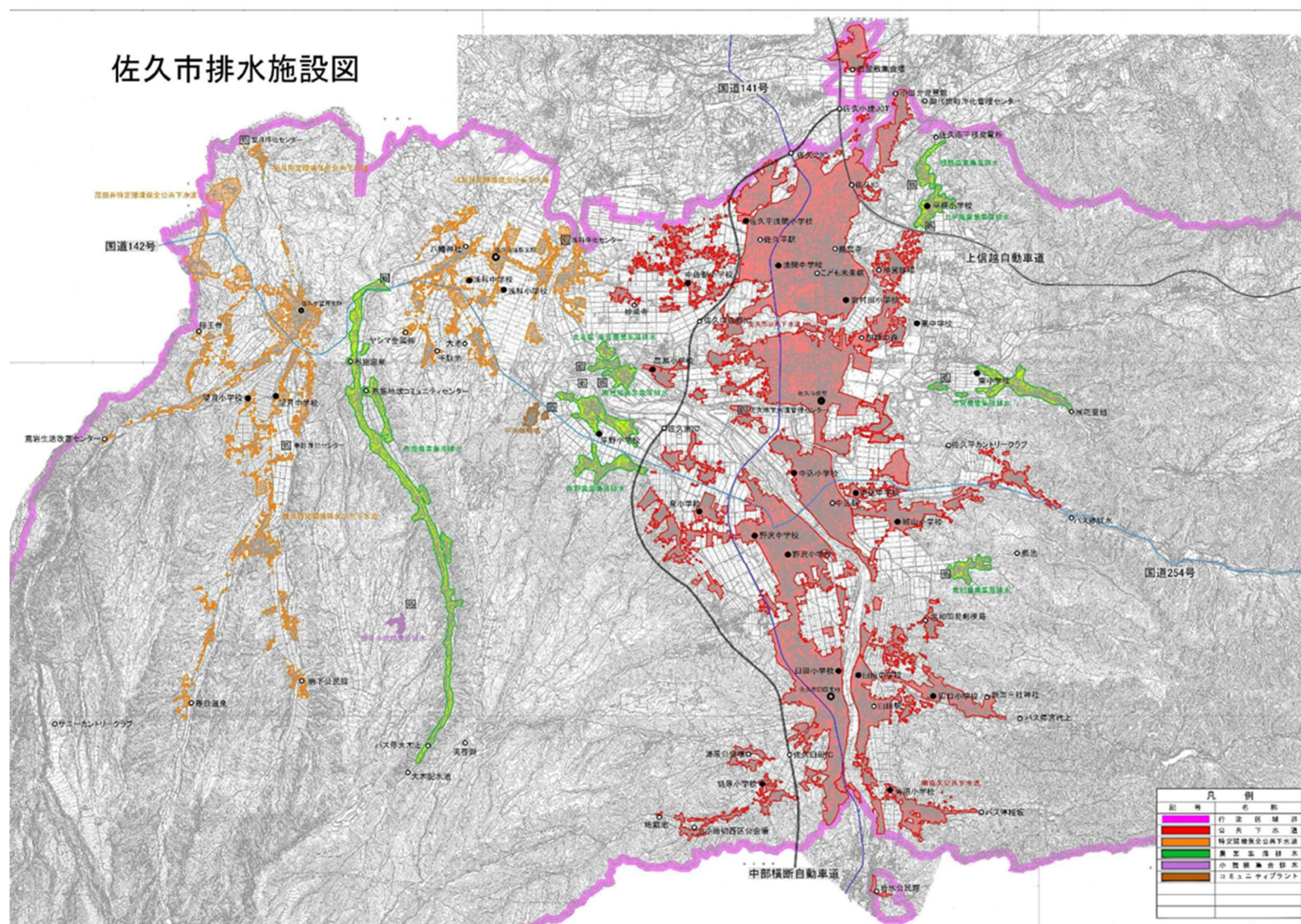


図 2.1 対象施設位置図

2.2 管路の対象施設

管路施設は、公共下水道、特定環境保全公共下水道事業で約 686.7km（污水管 678km、雨水管 0km）、農業集落排水、小規模集落排水、コミュニティ・プラント等の集落排水事業で約 67.8km を整備しており、総延長は 745.8km となっております。管路施設の整備状況を表 2.5 及び表 2.6 に、年度別整備延長を図 2.2～図 2.4 に示します。

表 2.5 管路施設の整備延長

対象事業	污水	雨水	合計
公共・特環	678.0km	-	678.0km
集排等（農集、小規模、コミュニティ・プラント）	67.8km	-	67.8km
合計	745.8km	-	745.8km

表 2.6 管路施設の整備状況

対象事業	全体計画 面積	事業計画 面積	実績 (R5) 面積	実績 (R5) 使用可能人口
公共下水道事業	2499.4ha	2475.4ha	2177.2ha	63,489 人
特定環境保全公共 下水道事業	400.0ha	400.0ha	387.0ha	10,526 人
農業集落排水事業	-	-	264.0ha	5,012 人
小規模集合排水処 理事業	-	-	0.90ha	42 人
コミュニティ・プ ラント	-	-	10.0ha	209 人

出典：佐久市公共下水道事業計画 変更協議申出書（令和 6 年度 長野県佐久市）

出典：佐久市特定環境保全公共下水道（浅科処理区）変更協議申出書（令和 6 年度 長野県佐久市）

出典：佐久市特定環境保全公共下水道（望月処理区）変更協議申出書（令和 6 年度 長野県佐久市）

出典：佐久市特定環境保全公共下水道（春日処理区）変更協議申出書（令和 3 年度 長野県佐久市）

出典：令和 5 年度下水道事業特別会計決算書

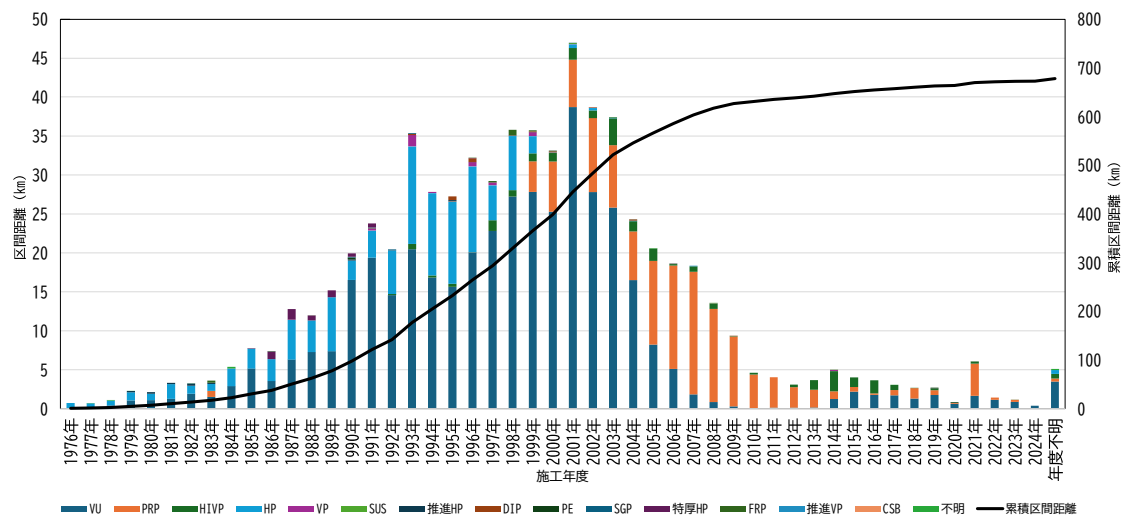


図 2.2 污水管（公共下水道・特定環境保全公共下水道）

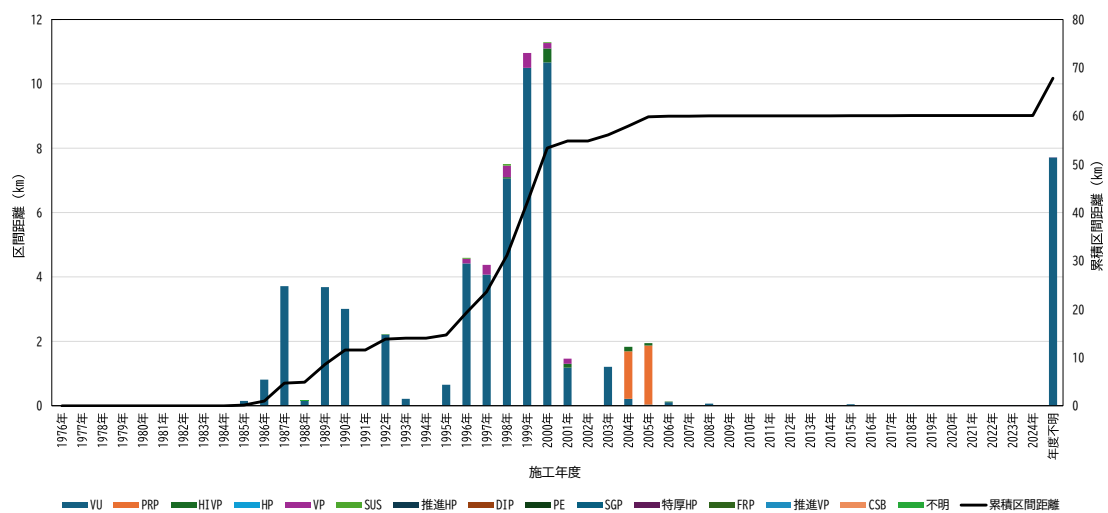


図 2.3 污水管（農業集落排水、小規模集落排水、コミュニティ・プラント）

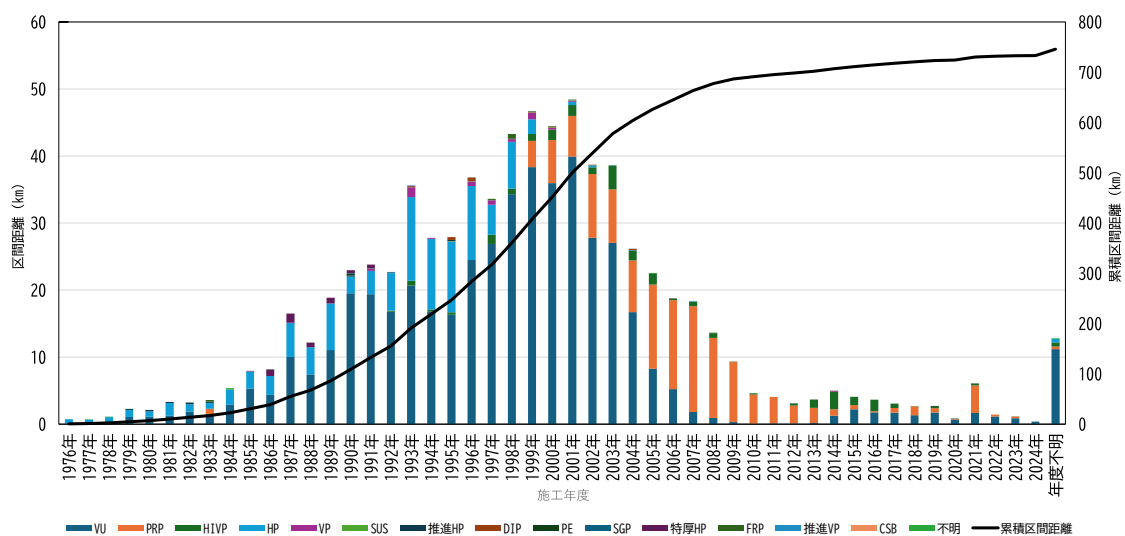


図 2.4 污水管（全事業）

2.3 処理場等の対象施設

佐久市公共下水道事業における処理場等の対象施設は、終末処理場 1 箇所、特定環境公共下水道 3 箇所、汚水ポンプ場 3 箇所（公共 2 箇所、特環 1 箇所）、マンホールポンプ場 180 箇所（公共 105 箇所、特環 75 箇所）となっております。各処理場・ポンプ場の概況を表 2.7 に示します。

a) 佐久市下水道管理センター

表 2.7 佐久市下水道管理センターの概況

主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り		
沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 1,800 m ³ /m ² ・日	2/2
主ポンプ	4 台	汚水ポンプ	既設 約 13.5m ³ /分・台 計画 約 10.5m ³ /分・台	
最初沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式	水面積負荷 約 50m ³ /m ² ・日	4/4 (Ⅰ、Ⅱ系)
最初沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式	水面積負荷 約 50m ³ /m ² ・日	3/3 (Ⅲ、Ⅳ系)
反応タンク	4 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション時間 約 8 時間	4/4 (Ⅰ、Ⅱ系)
反応タンク	2 池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション時間 約 8 時間	3/3 (Ⅲ、Ⅳ系)
送風機	2 台	鋼板製多段ターボブロワ	風量 約 70m ³ /分・台	
最終沈殿池	4 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式	水面積負荷 約 30m ³ /m ² ・日	4/4 (Ⅰ、Ⅱ系)
最終沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り 矩形一方向常流式	水面積負荷 約 30m ³ /m ² ・日	3/3 (Ⅲ、Ⅳ系)
塩素混和地	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約 15 分	1/1
放流渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.4m ³ /秒	
汚泥濃縮タンク	2 槽	鉄筋コンクリート造り 重力式	固形物負荷率 60～90kg/m ² ・日	2/2
汚泥脱水機	2 台	機械脱水	投入固形物量 約 4.6t/日	2/2
管理棟	1 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造り	中央監視室、水質試験室、事務室、沈砂池、ポンプ室、ブロワ室、電気室、自家発電室	
汚泥棟	2 棟	鉄筋コンクリート造り	脱水機室、汚泥濃縮タンク室、脱臭機室	
ブロワー棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	ブロワー室、電気室	

出典：佐久市公共下水道事業計画 変更協議申出書（令和 6 年度 長野県佐久市）

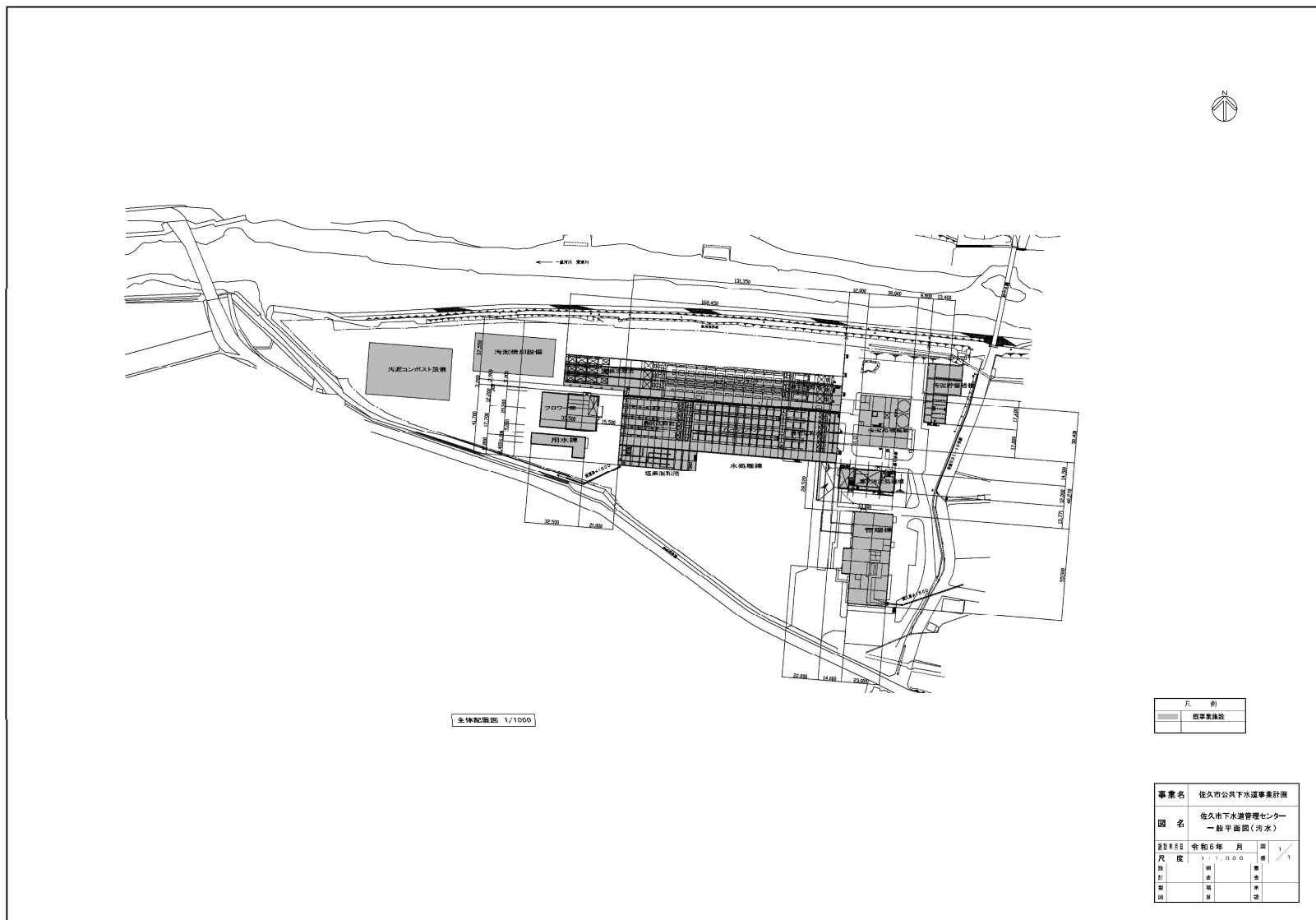


図 2.5 佐久市下水道管理センター一般平面図（汚水）

表 2.8 佐久市下水道管理センター 汚水ポンプ施設の概況

ポンプ場の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
野沢中継ポンプ場	汚水ポンプ	2	水中汚水ポンプ	3.5m ³ /分	-
		2	水中汚水ポンプ	7.0m ³ /分	-
中込原中継ポンプ場	汚水ポンプ	2	水中汚水ポンプ	4.5m ³ /分	-
		2	水中汚水ポンプ	6.5m ³ /分	-

表 2.9 佐久市下水道管理センター マンホールポンプ場の概況（公共）（1/3）

通番	名称	設置年月	メーカー	型式	吐出力	揚程	出力
					m ³ /分	m	kw
1	南上ノ城	H7. 3	㈱荏原製作所	80DMV65. 5	0.40	15.5	5.5
2	一本柳東	H6. 3	㈱荏原製作所	80DV65. 5	0.68	13.5	5.5
3	蟹ヶ沢	H4. 3	久保田鉄工㈱	KS-VO802GA	0.50	7.0	2.2
4	三河田	H6. 3	久保田鉄工㈱	KS-SP82AZ A(F)	0.78	15.6	7.5
5	横和	H6. 3	久保田鉄工㈱	SER82T1B	0.30	3.2	1.5
6	今井	H6. 3	久保田鉄工㈱	KS-N803AA	0.30	13.5	3.7
7	油田	S61. 3	久保田鉄工㈱	UK-15H、UKW-15H	0.30	8.0	1.5
8	下馬場	H9. 3	㈱クボタ	KS-VG1005AA	1.38	5.7	5.5
9	上町屋	H4. 3	久保田鉄工㈱	KS-VO802GA	0.50	7.0	2.2
10	大石田	H7. 3	久保田鉄工㈱	SER82T1B	0.50	3.2	1.5
11	橋上	H8. 3	久保田鉄工㈱	SER51T1B1	0.20	4.0	0.75
12	中島	H9. 3	㈱クボタ	SER82T3B	0.50	4.0	1.5
13	平賀北口	H12. 4	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.300	8.5	2.2
14	塚原濁	H12. 7	㈱クボタ	KS-VO1005GA	1.60	4.0	5.5
15	中蟹沢	H12. 10	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.300	5.5	2.2
16	北川勝間	H13. 1	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.40	5.5	2.2
17	北川広沢	H13. 1	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.280	5.5	2.2
18	下滝	H13. 3	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.300	7.0	2.2
19	五里田	H13. 3	㈱クボタ	KS-VG807AA	0.85	19.5	7.5
20	上屋敷	H13. 3	㈱クボタ	KS-VG811AA	0.50	24.5	11.0
21	橋向	H13. 3	㈱クボタ	KS-SP82AA	0.45	24.0	5.5
22	南一本柳	H13. 3	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.30	5.0	2.2
23	飯綱下	H13. 3	㈱クボタ	KS-SP103AKAA	0.70	28.0	11.0
24	住吉	H13. 11	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.30	4.5	2.2
25	松井	H14. 3	㈱クボタ	KS-VG803AA	0.60	8.0	3.7
26	根々井橋向	H14. 3	㈱鶴見製作所	8-PUWT	0.20	9.0	0.75
27	南羽毛平	H14. 3	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.30	6.5	2.2
28	原橋下	H14. 3	新明和工業㈱	KS-VL802AA	0.16	4.6	1.5
29	古城	H14. 11	㈱鶴見製作所	TOP65U41.5L-62	0.16	3.7	1.5
30	上ノ城北	H14. 12	㈱クボタ	KS-VL52A	0.16	3.7	1.5
31	亀田	H15. 4	㈱クボタ	KS-VG802AA	0.30	10.0	3.7
32	中込樋村	H15. 3	㈱クボタ	KS-VG803AA(F)	0.43	9.5	3.7
33	白山南	H15. 10	㈱クボタ	KS-VG805AA	0.52	15.9	5.5
34	野馬久保	H15. 12	㈱クボタ	KS-VG807AA	0.59	18.5	7.5
35	うな沢	H16. 1	㈱鶴見製作所	TOP80UZG45.5-63	0.94	12.9	5.5
36	西屋敷添	H15. 12	㈱荏原製作所	80DMV263. 7	0.22	11.9	3.7
37	平賀下宿	H16. 3	㈱クボタ	KS-VG803AA	0.16	10.4	3.7
38	居屋敷	H16. 3	㈱クボタ	KS-VL63AA	0.20	6.0	1.5
39	上屋敷その2	H16. 3	㈱鶴見製作所	50PU-2.4-62	0.15	6.5	0.4
40	長土呂濁	H16. 3	㈱クボタ	KS-VG801AA	0.56	5.0	1.5

表 2.10 佐久市下水道管理センター マンホールポンプ場の概況（公共）（2/3）

通番	名称	設置年月	メーカー	型式	吐出量	揚程	出力
					m ³ /分	m	kw
41	十二	H16.3	株鶴見製作所	TOP80UZG43.7-62	0.348	9.9	3.7
42	円正坊	H16.3	株クボタ	KS-VL63AA	0.28	6.6	1.5
43	下梁田	H16.3	株クボタ	KS-VL63AA	0.230	4.8	1.5
44	居村	H16.3	株鶴見製作所	TOP50U4.4-64	0.16	3.9	0.4
45	郷土ヶ井	H16.3	株鶴見製作所	50PU-2.4-62	0.150	6.5	0.4
46	北川栗ノ木	H16.2	株鶴見製作所	50PU-2.4-62	0.150	6.5	0.4
47	根々井日向	H16.8	株鶴見製作所	TOK3-50PU2.4 4-62	0.15	6.5	0.4
48	桶掛	H16.8	株クボタ	KS-VL52AA	0.15	4.7	0.75
49	内山町下	H16.9	株クボタ	KS-VG801APA	0.16	4.2	1.5
50	猿久保下原	H16.9	株クボタ	KS-VL52AA	0.16	4.8	0.75
51	岩村田西芝間	H17.3	株クボタ	KS-VG805AA	0.16	15.0	5.5
52	前山東	H17.3	株クボタ	KS-VG1005AA	1.05	9.1	5.5
53	旭ヶ丘	H17.3	株クボタ	KS-VL73AA	0.16	7.0	1.5
54	鼻顔	H17.3	株クボタ	KS-VG805AA	0.28	17.1	5.5
55	杉の木	H18.3	株クボタ	KS-VL63AA	0.16	5.4	1.5
56	陽雲寺	H17.12	フリクト	MP3068.170HT-218S	0.20	4.4	1.5
57	安原	H18.3	株クボタ	KS-VG803AA	0.16	11.9	3.7
58	駒場公園北	H18.3	株クボタ	KS-VG	0.29	11.8	3.7
59	鳴瀬	H18.2	株クボタ	KS-VL64AA	0.16	10.2	2.2
60	弥生ヶ丘入口	H18.3	株荏原製作所	80DMVF67.5	0.37	16.9	7.5
61	小宮山	H18.3	株荏原製作所	50DMV26.75	0.07	5.9	0.75
62	田古屋	H18.3	株クボタ	KS-VH75AA	0.16	12.0	3.7
63	緑ヶ丘	H18.3	株クボタ	KS-VH75AA	0.16	14.9	3.7
64	泉龍院	H18.3	株クボタ	KS-VL	0.18	5.1	1.5
65	前山南倉沢川	H19.3	株クボタ	KG801APA	0.41	5.0	1.5
66	北川工業団地	H20.3	株クボタ	KS-VL74AA	0.15	11.0	2.2
67	長土呂入高山	H20.3	新明和工業(株)	CVM65-P65G	0.16	6.2	1.5
68	北川工業団地2	H20.3	株クボタ	KS-VL73AA	0.16	6.1	1.5
69	上ノ城団地	H20.3	株クボタ	KS-VG805AA	0.160	18.2	5.5
70	上梁田	H20.3	株クボタ	KS-VL73AA	0.16	6.1	1.5
71	南居村	H20.12	株クボタ	KS-VL73AA	0.159	7.7	1.5
72	北川工業団地3	H21.3	株クボタ	KS-VL75AA	0.16	12.1	3.7
73	清川	H21.3	株荏原製作所	65DMV263.7	0.160	11.8	3.7
74	善阿弥	H21.3	株クボタ	KS-VL73AA	0.120	4.4	1.5
75	前山居屋敷	H21.3	新明和工業(株)	CNW651	0.16	7.9	1.5
76	坂下	H21.3	株クボタ	KS-VH75AA	0.16	13.9	3.7
77	上小田切岩下1	H22.2	株クボタ	KS-VL52AA	0.16	5.9	0.75
78	上小田切岩下2	H22.2	株クボタ	KS-VL52AA	0.16	5.8	0.75
79	瀬戸山崎	H22.3	株クボタ	KS-VL63AA	0.22	3.9	1.5
80	小田井下曾根	H22.12	新明和工業(株)	CVC801-P80G	0.63	9.1	3.7
81	田口龍岡城南	H23.3	株クボタ	KS-VL51AA	0.07	5.2	0.4
82	小宮山後澤	H23.3	株鶴見製作所	50PU2.75-62	0.07	9.5	0.75
83	前山倉沢	H23.3	株鶴見製作所	50PU2.4-52/62	0.07	6.7	0.4
84	小田井西屋敷1	H24.12	株クボタ	KS-VG805AA	0.54	14.5	5.5
85	長福寺	H26.3	株鶴見製作所	50PU2.4-63	0.15	6.5	0.4
86	中佐都駅北	H26.4	株クボタ	KS-VG803AA	0.40	12.2	3.7
87	瀬戸西	H26.10	株クボタ	KS-VL73AA	0.24	8.2	1.5
88	常田大池	H26.11	株クボタ	KS-VG807AA(F)	0.35	20.4	7.5
89	瀬戸	H4.3	新明和工業(株)	CW50-P65B	0.30	10.6	2.2
90	小田井西屋敷2	H28.3	株クボタ	KS-VL52AA	0.16	7.3	0.75
91	中佐都IC西	H28.3	株クボタ	KS-SP103AA(F)	1.16	24.6	11.0
92	平塚橋	H28.3	株クボタ	KS-SP103AA(F)	1.16	19.9	11.0
93	常田処理場跡	H28.3	株クボタ	KS-VG807AA	0.28	20.0	7.5
94	常田南	H5.11	株日立製作所	UV2-50-60.4	0.02	3.0	0.4
95	常田中	H5.3	株日立製作所	UV2-50-60.4	0.07	6.0	0.4

表 2.11 佐久市下水道管理センター マンホールポンプ場の概況（公共）（3/3）

通番	名称	設置年月	メーカー	型式	吐出量 m ³ /分	揚程 m	出力 kw
96	常田西	H6.2	㈱日立製作所	UV2-50-60.4	0.03	5.5	0.4
97	中佐都小西	H28.12	㈱クボタ	KS-VG1003AA	0.77	8.2	3.7
98	佐久南IC	H29.2	㈱クボタ	KS-VG805AA	0.159	15.0	5.5
99	塚原	H8.3	㈱日立製作所	UV2-65-62.2	0.24	13.0	2.2
100	塚原処理場跡	H29.3	㈱クボタ	KS-SP103AA(F)	0.636	26.4	11.0
101	北桜井	H30.3	㈱クボタ	KS-VG815AA	0.42	29.9	15.0
102	田口処理場跡	H31.3	㈱クボタ	KS-VL73A3A	0.408	5.5	1.5
103	田口本村	H8.12	㈱クボタ	KS-VI.64A(旧型式: TSFR73	0.30	10.6	2.2
104	小田井皎月	R1.12	㈱クボタ	KS-N 5007 A2A	0.071	8.5	0.75
105	佐久平駅南	R4.1	㈱クボタ	KS-N652A2 A	0.220	12.6	2.2

b) 望月浄化センター

表 2.12 望月浄化センターの概況

主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り	流量 約 0.177 m ³ /sec	1/1
沈砂池	1 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 3,600 m ³ /m ² ・日	1/1
オキシデーションディッチ	2 池	鉄筋コンクリート造り 無終端水路式	エアレーション時間 約 24 時間	2/2
最終沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 8m ³ /m ² ・日	2/2
塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り 長方形迂回式	接触時間 約 15 分	1/1
放流管渠	1 式	鉄筋コンクリート管	流量 約 0.177 m ³ /sec	1/1
汚泥濃縮タンク	2 槽	鉄筋コンクリート管 重力式	固形物負荷 約 50kg/m ² ・日	2/2
濃縮汚泥貯留槽	2 槽	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 約 2 日	2/2
管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	監視室、事務室、電気室、自家発電室、水質試験室、作業員控室	

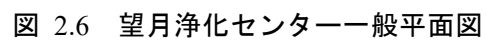


表 2.13 望月浄化センター マンホールポンプ場の概況

通番	名称	設置年月	メーカー	型式	口径	吐出量	揚程	出力
					mm	m ³ /分		
1	御桐谷	H9.3	(株)日立製作所	UBS150-67.5	150	2.2	12.5	7.5
2	本町	H9.3	(株)日立製作所	SUV65-60.75	65	0.2	5.7	0.75
3	県町	H10.3	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.2	8.5	1.5
4	城下上	H11.1	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.2	7.0	1.5
5	城下下	H11.1	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.2	9.0	1.5
6	高呂1	H13.11	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	9.0	1.5
7	金井町	H14.3	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	7.0	1.5
8	高呂2	H13.11	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	8.0	1.5
9	並木	H15.1	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.16	8.0	1.5
10	三井1	H15.3	(株)日立製作所	UBS65-63.7	65	0.40	10.0	1.5
11	天神1	H16.2	(株)日立製作所	SUV65-61.5S	65	0.16	10.0	1.5
12	小平2	H16.2	(株)日立製作所	SUV65-61.5S	65	0.16	10.0	1.5
13	片倉1	H16.2	(株)日立製作所	SUV80-67.5	80	0.16	21.0	7.5
14	片倉2	H16.3	(株)日立製作所	SUV80-65.5	80	0.35	14.0	5.5
15	協東	H16.3	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.16	5.0	1.5
16	胡桃沢	H16.3	(株)日立製作所	SUV65-63.7	65	0.38	9.0	3.7
17	小平3	H16.9	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.16	9.0	1.5
18	片倉3	H16.9	(株)日立製作所	SUV65-63.7	65	0.243	12.0	3.7
19	片倉4	H16.9	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.243	16.0	3.7
20	片倉5	H17.1	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.160	8.0	1.5
21	比田井2	H17.1	(株)日立製作所	SUV65-61.5L	65	0.160	6.0	1.5
22	高呂3	H18.3	(株)鶴見製作所	TOP65UZ41.5-62	65	0.160	6.0	1.5
23	高呂5	H17.1	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	5.0	0.75
24	小平1	H17.1	(株)日立製作所	SUV65-60.75	65	0.160	5.0	0.75
25	三井2	H17.1	(株)日立製作所	SUV65-62.2	65	0.160	11.0	2.2
26	比田井1	H18.3	(株)鶴見製作所	TOP65UZ41.5-62	65	0.160	7.0	1.5
27	高呂4	H18.3	(株)鶴見製作所	TOP65UZ41.5-62	65	0.16	6.0	1.5
28	小平4	H18.3	(株)鶴見製作所	TOP65UZ42.2-64	65	0.16	11.0	2.2
29	鳶岩	H18.3	(株)鶴見製作所	TOP65UZ41.5-62	65	0.16	7.0	1.5

c) 春日浄化センター

表 2.14 春日浄化センターの概況

主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
流入管渠	一式	鉄筋コンクリート管	流量 約 0.072m ³ /sec	1/1
オキシデーションディッチ	1 池	鉄筋コンクリート造り 無終端水路式	エアレーション時間 約 24 時間	1/1
最終沈殿池	1 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 8m ³ /m ² ・日	1/1
塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り 長方形迂回式	接触時間 約 15 分	1/1
放流管渠	1 式	鉄筋コンクリート管	流量 約 0.072m ³ /sec	1/1
汚泥濃縮タンク	1 槽	鉄筋コンクリート管 重力式	固形物負荷 約 40kg/m ² ・日	1/1
濃縮汚泥貯留槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 約 3 日	2/2
管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	監視室、電気室、自家発電室	

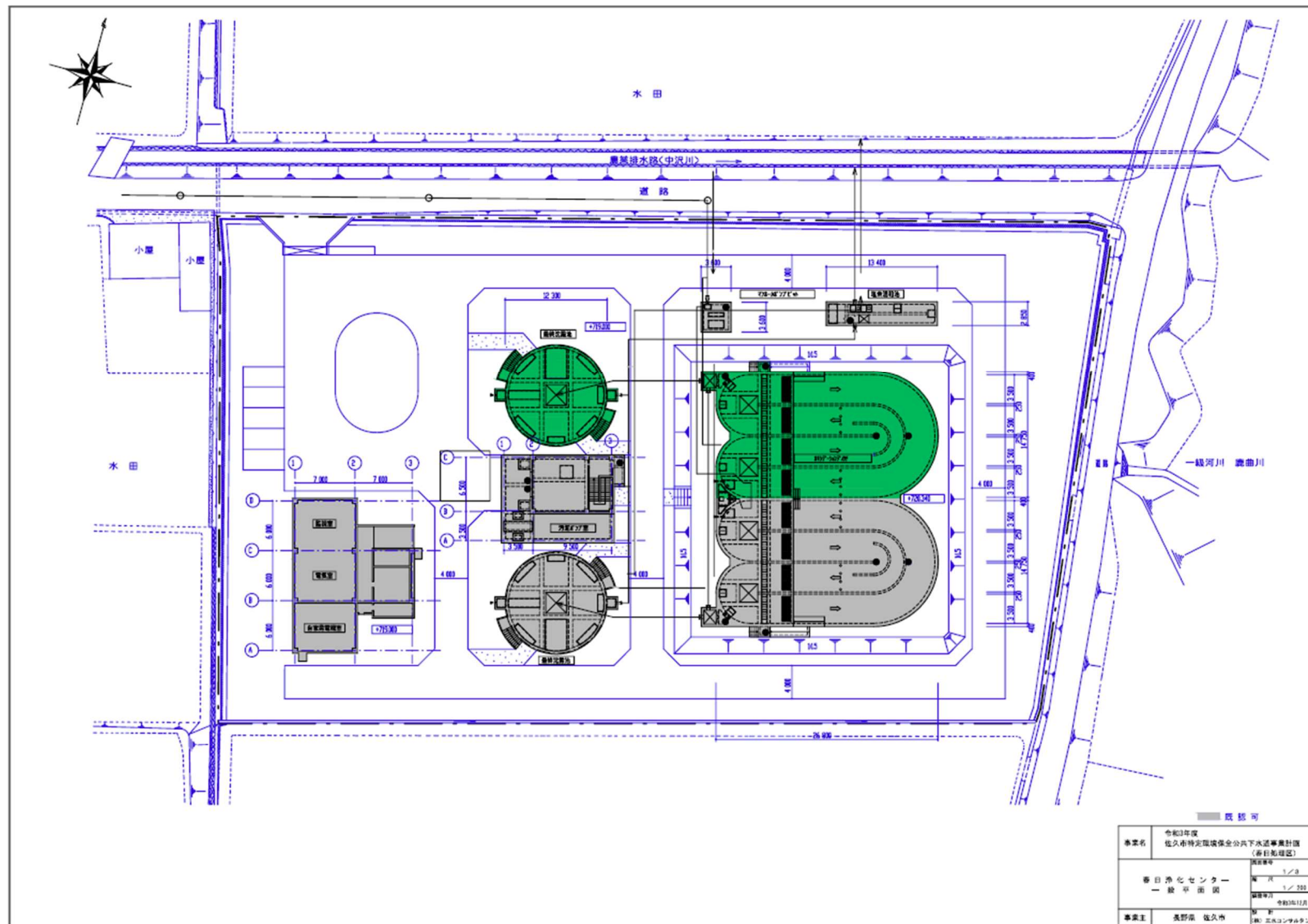


図 2.7 春日浄化センター一般平面図

表 2.15 春日浄化センター マンホールポンプ場の概況

	名称	設置年月	メーカー	型式	口径 mm	吐出量 m3/分	揚程 m	出力 kw
1	長戸	H10.12	(株)日立製作所	UBS100-67.5	100	1.21	21.0	7.5
2	宮平	H10.12	(株)日立製作所	SUV100-63.7	100	1.13	7.0	3.7
3	向反下	H11.12	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	8.0	1.5
4	向反上	H11.12	(株)日立製作所	SUV65-61.5	65	0.16	9.0	1.5
5	岩下	H14.3	(株)日立製作所	SUV65-61.5	65	0.16	4.0	1.5
6	入片倉	H14.7	(株)日立製作所	SUV(ホルテック)	65	0.16	5.0	1.5
7	新田	H14.3	(株)日立製作所	SUV65-61.5	65	0.16	6.0	1.5

d) 浅科浄化センター

表 2.16 浅科浄化センターの概況

主要な施設 の名称	個数	構造	能力	摘要
流入管渠	1 式	鉄筋コンクリート造り		1/1
オキシデーシ ョンディッチ	2 池	鉄筋コンクリート造り 無終端水路式	エアレーション時間 約 24 時間	2/2
最終沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 8m ³ /m ² ・日	2/2
塩素混和池	1 池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約 15 分	1/1
放流管渠	1 式	鉄筋コンクリート管		1/1
汚泥濃縮タン ク	1 槽	鉄筋コンクリート管 重力式	固形物負荷 約 40kg/m ² ・日	2/2
汚泥貯留槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り		2/2
管理汚泥棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り	監視室、電気室、自家発電室	

図 2.8 浅科浄化センター 一般平面図

表 2.17 浅科浄化センター マンホールポンプ場の概況

通番	名称	設置年月	メーカー	型式	口径	吐出量	揚程	出力
					mm	m ³ /分	m	kw
1	塩名田1	H8.4	新明和	CVN50-P65B	65	0.2	5.5	0.75
2	塩名田2	H8.4	新明和	CVN50-P65B	65	0.2	5.5	0.75
3	塩名田3	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.2	12.7	1.5
4	塩名田4	H8.4	新明和	CVM50-P65B	65	0.2	1.5	0.4
5	塩名田5	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.2	8.4	1.5
6	塩名田6	H8.4	新明和	CW80-P100G	100	0.78	9.0	2.2
7	塩名田7	H16.3	荏原	65DMVR6.75	65	0.16	5.7	0.75
8	御馬寄1	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	13.2	1.5
9	御馬寄2	H8.4	新明和	CW80-P65G	65	0.20	13.5	2.2
10	御馬寄3	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	6.8	1.5
11	御馬寄4	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	7.5	1.5
12	御馬寄5	H16.1	荏原	65DMZT	65	0.18	15.0	2.2
13	庄の上1	H3.4	新明和	CVL-501	50	0.32	3.5	0.75
14	庄の上2	H3.4	新明和	CVL-501	50	0.32	2.3	0.75
15	駒寄1	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	7.0	1.5
16	駒寄2	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	7.9	1.5
17	駒寄3	H8.4	新明和	CW65-P65G	65	0.20	9.6	1.5
18	上原1	H11.11	新明和	CVL651-P65	65	0.159	7.4	1.5
19	上原2	H11.11	新明和	CW65-P65G	65	0.159	11.7	1.5
20	中原1	H10.4	新明和	CVL651-P80G	80	0.159	8.3	1.5
21	中原2	H10.4	新明和	CVL651-P80G	80	0.159	7.2	1.5
22	中原3	H11.4	新明和	CW80-P100G	100	0.637	9.3	2.2
23	中原4	H15.12	荏原	65DMVR6.75	65	0.16	5.7	0.75
24	下原1	H10.4	新明和	CWF-100G-PG	100	1.059	24.7	11.0
25	下原2	H10.4	新明和	CWF-100G-PG	100	0.994	13.5	5.5
26	下原3	H10.4	新明和	CVL651-P80G	80	0.159	7.5	1.5
27	下原4	H12.4	旭テック	GP310	50	0.04	28.0	0.75
28	八幡1	H12.9	荏原	65DMV2 65.5	65	0.78	8.6	5.5
29	八幡2	H12.9	荏原	65DMV2 65.5	65	0.20	13.9	5.5
30	八幡3	H12.9	旭テック	GP310	50	0.039	9.0	0.75
31	八幡4	H13.3	荏原	65DMV2 65.5	65	0.16	3.6	1.5
32	八幡5	H24.11	旭テック	GP310	50	0.03	7.1	0.75
33	八幡6	H14.4	旭テック	GP310	50	0.03	2.5	0.75
34	八幡7	H15.2	鶴見	TOP-80UG41.5	65	0.16	4.7	1.5
35	八幡8	H15.3	旭テック	GP410ex	32	0.039	3.9	0.75
36	八幡9	H15.3	旭テック	GP310	50	0.039	3.6	0.75
37	桑山1	H14.4	荏原	65DMV2 65.5	65	0.16	9.7	5.5
38	桑山2	H14.4	荏原	65DMV2 65.5	65	0.16	5.7	1.5
39	矢島1	H17.1	鶴見	TOP-65UZG42.2	65	0.18	9.5	2.2

2.4 農業集落排水、小規模、コミュニティ・プラントの対象施設

佐久市公共下水道事業における農業集落排水、小規模、コミュニティ・プラントの対象施設は、農業集落排水施設 8 箇所、小規模施設 1 箇所、コミュニティ・プラント 1 箇所、マンホールポンプ場 16 箇所（農業集落排水のみ）となっております。各処理場・マンホールポンプ場の概況を に示します。

a) 志賀処理場（農業集落排水）

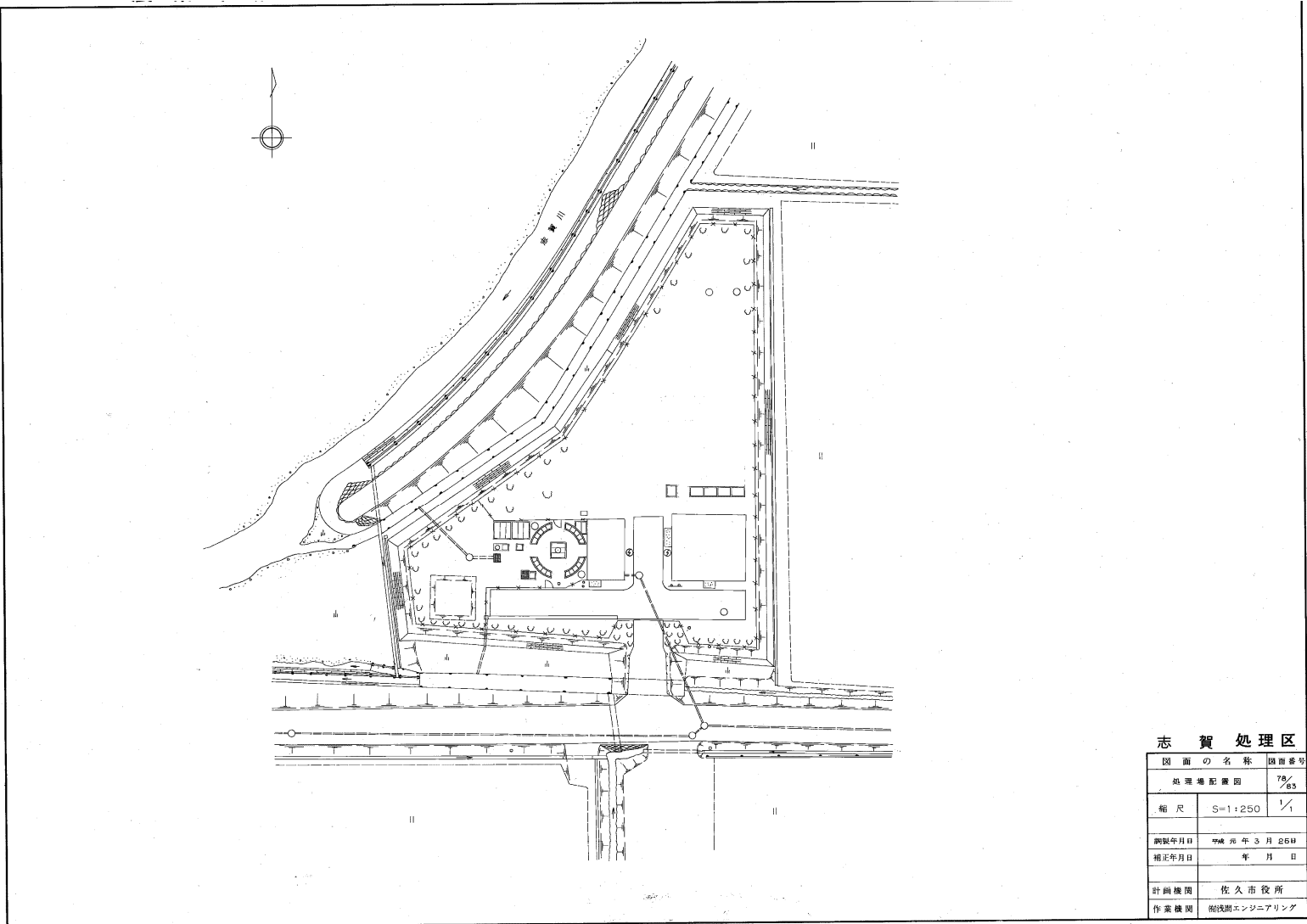


図 2.9 志賀処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

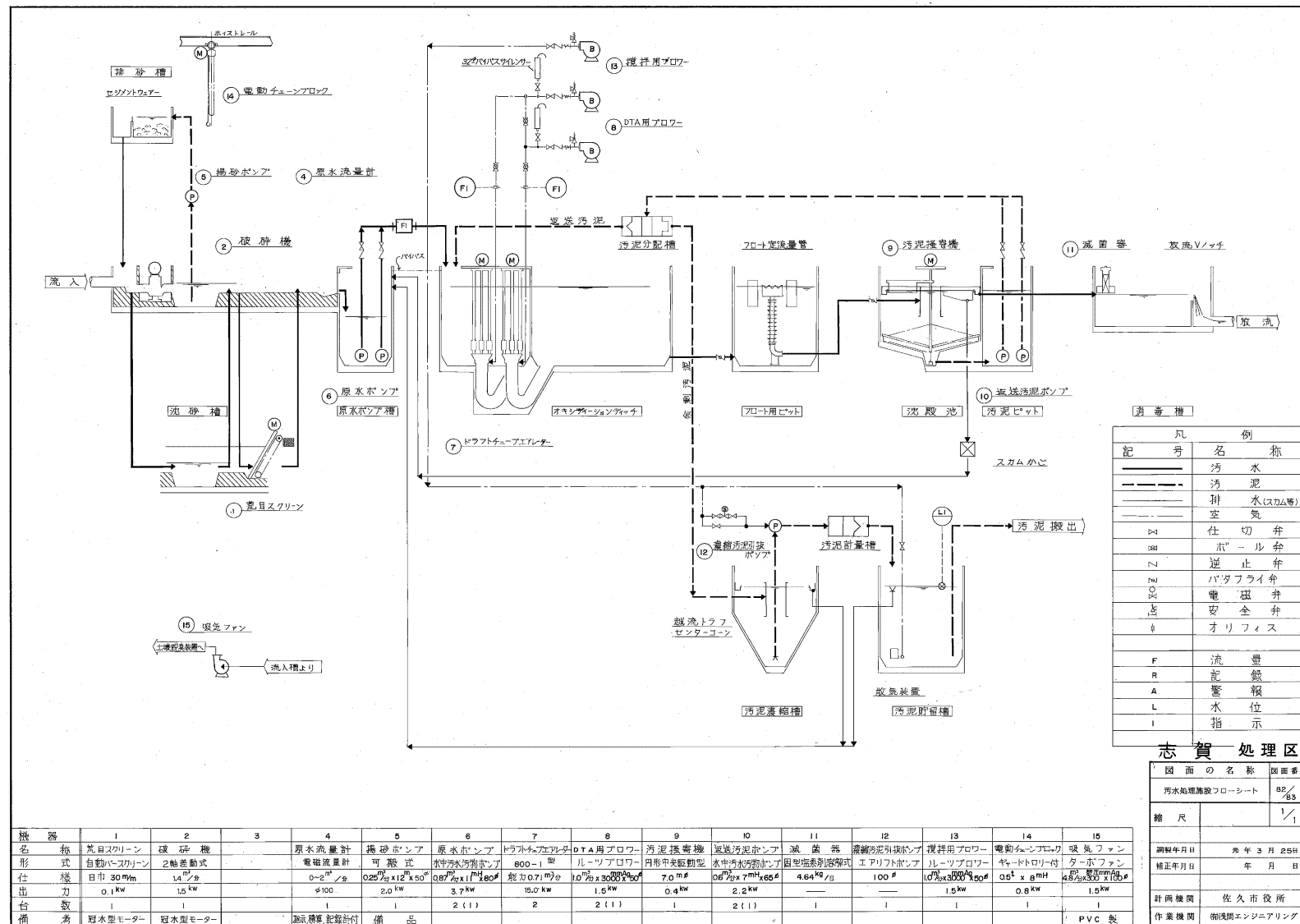


図 2.10 志賀処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

b) 南岩尾処理場（農業集落排水）

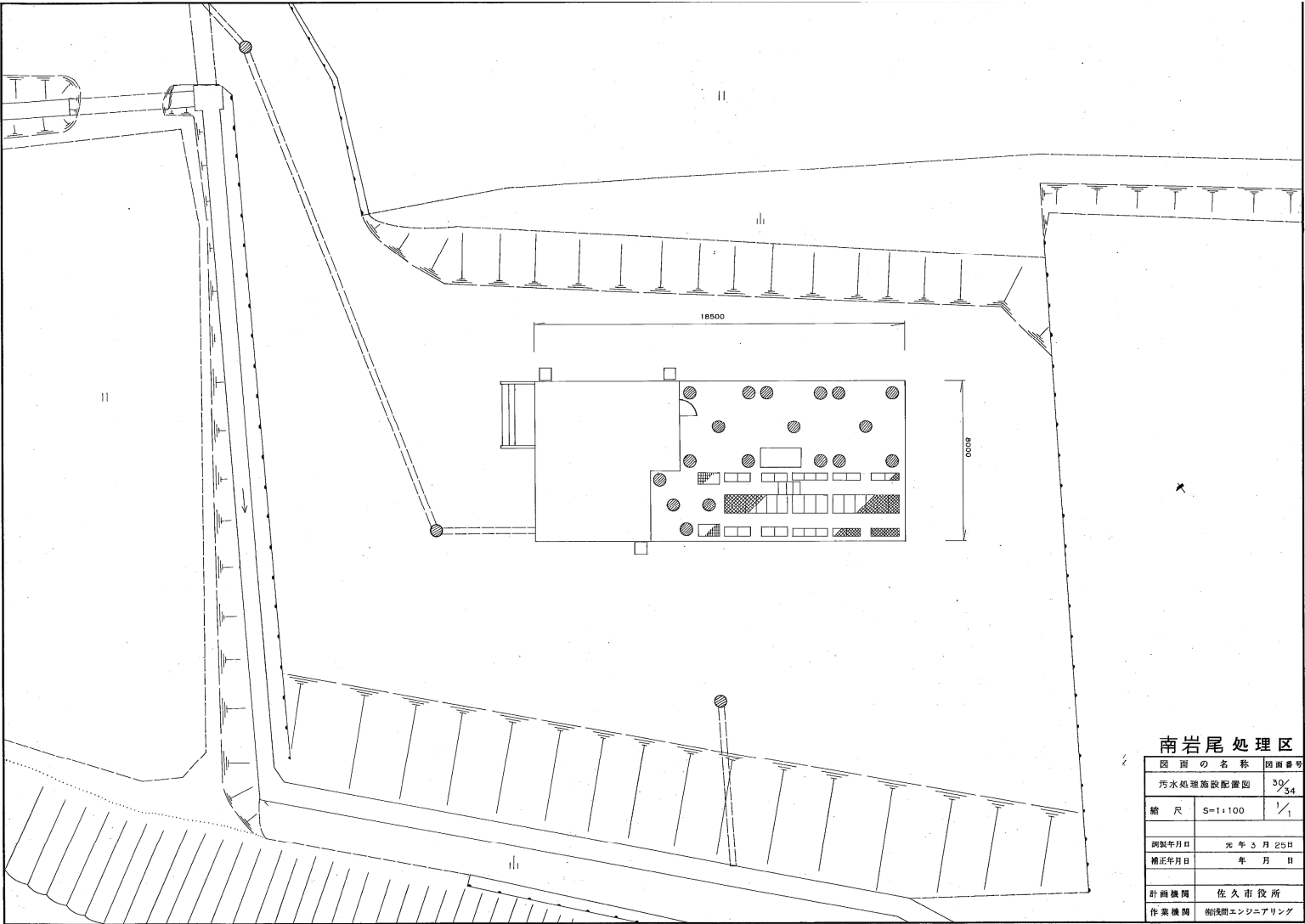


図 2.11 南岩尾処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

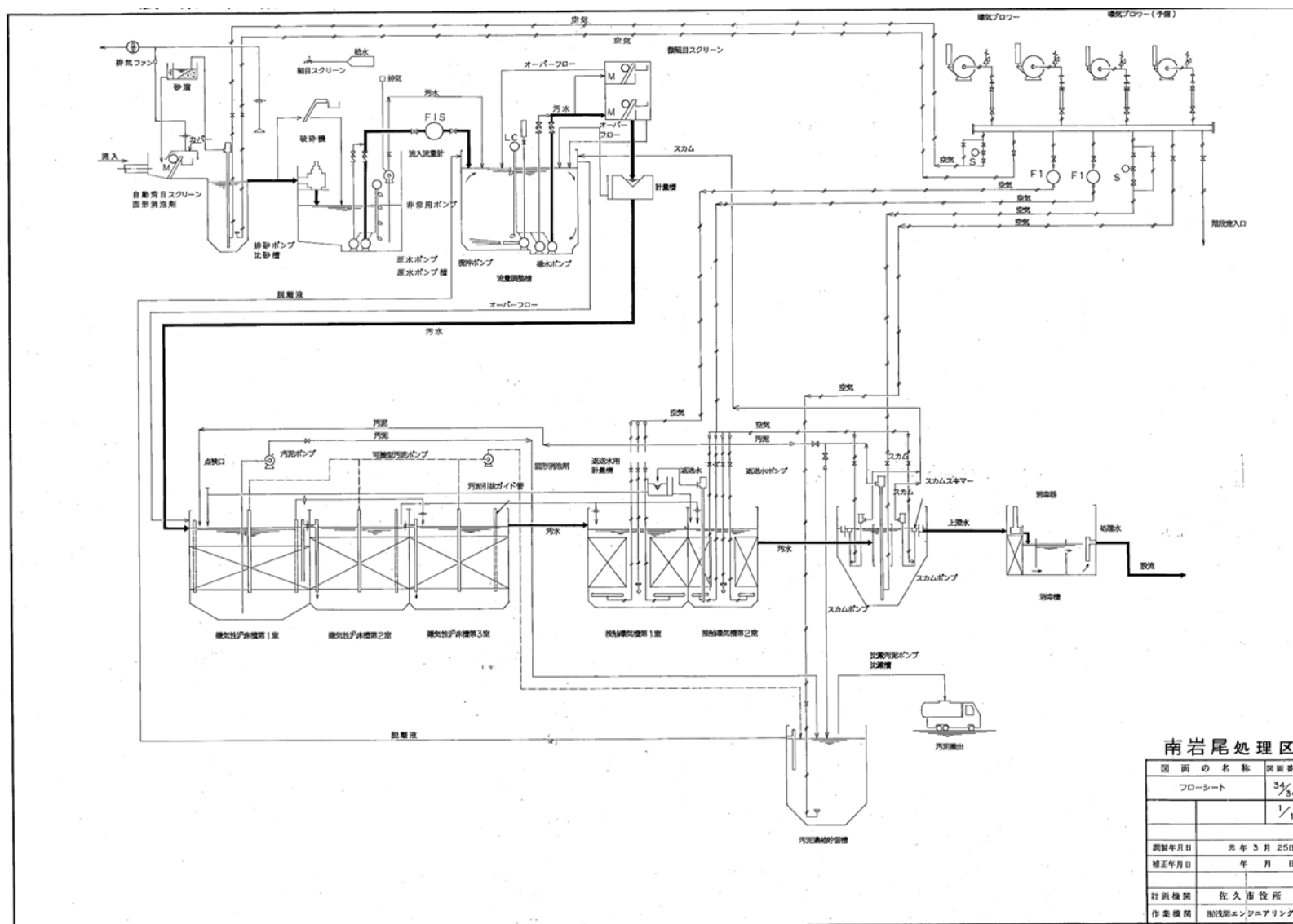


図 2.12 南岩尾処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

c) 常和处理場（農業集落排水）

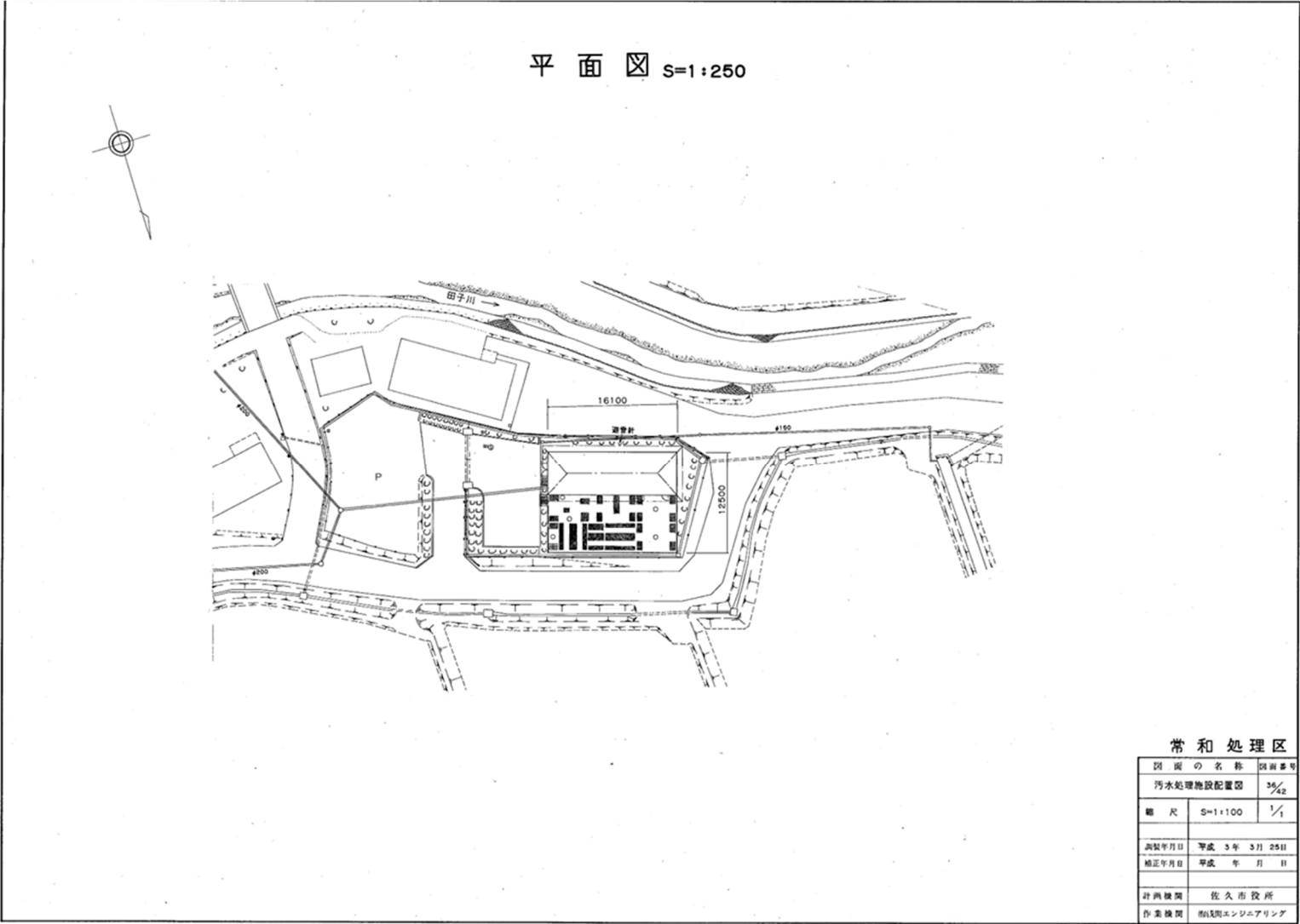


図 2.13 常和处理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

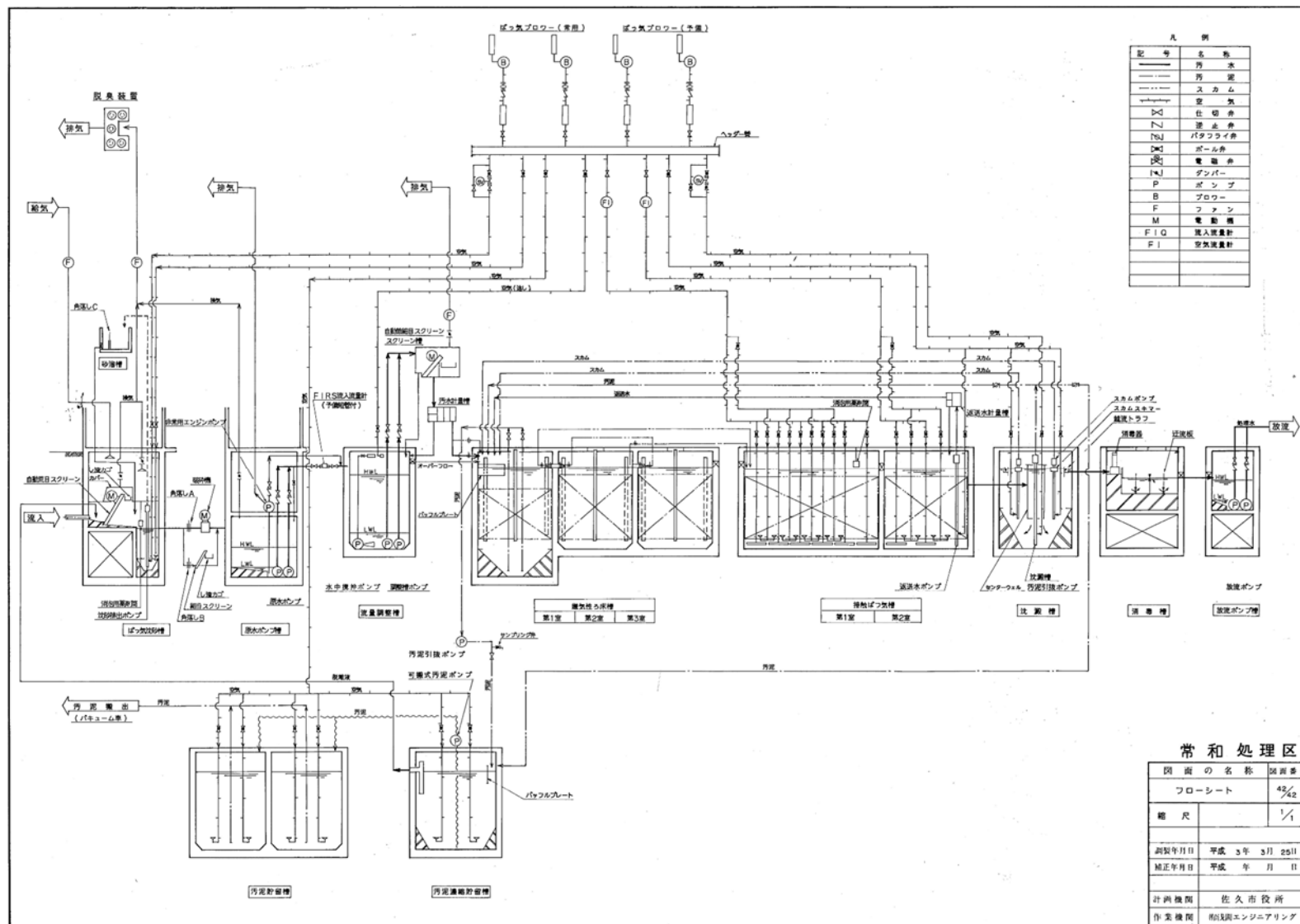


図 2.14 常和処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

d) 横根処理場（農業集落排水）

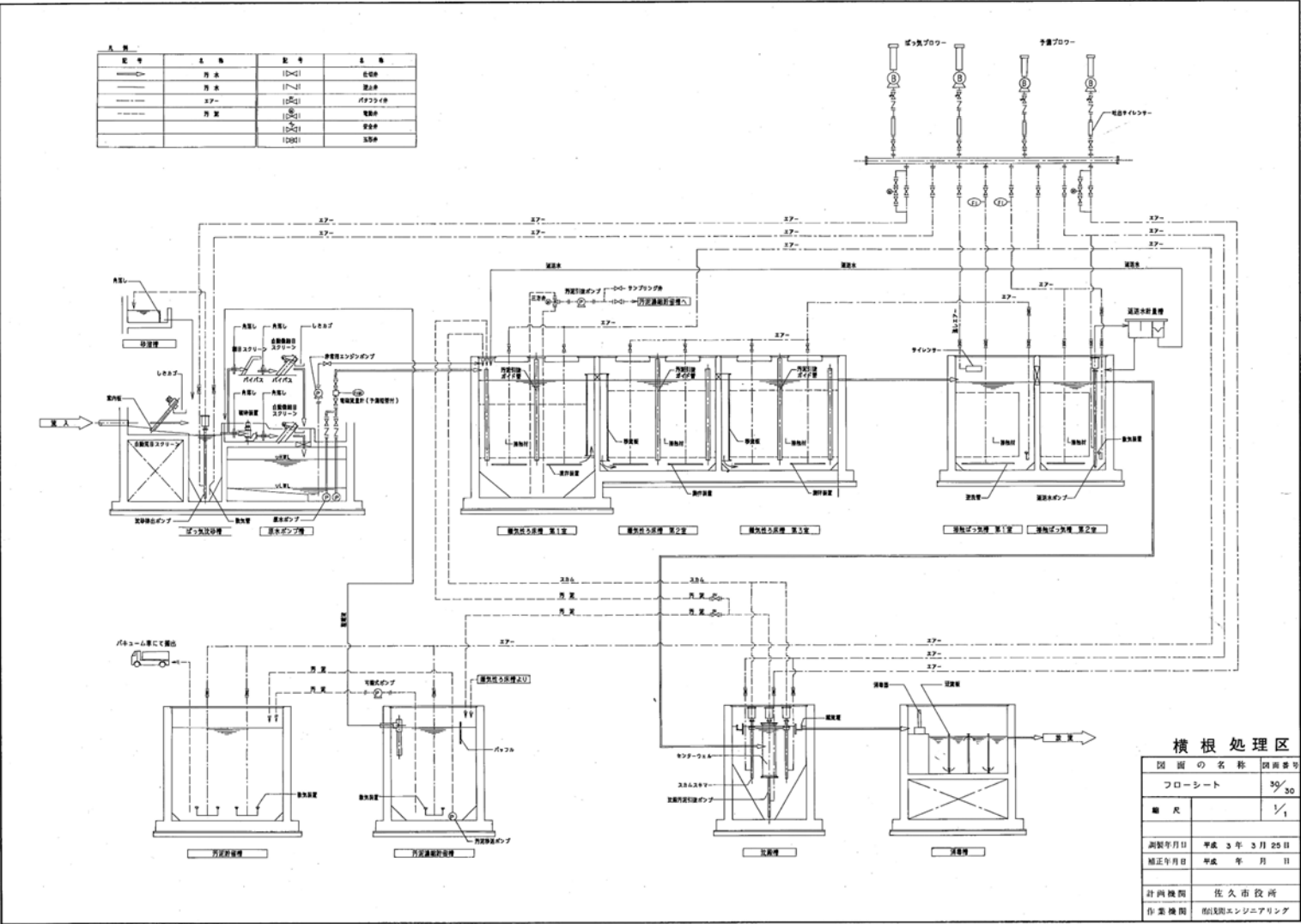


図 2.15 横根処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

e) 北岩尾・落合処理場（農業集落排水）

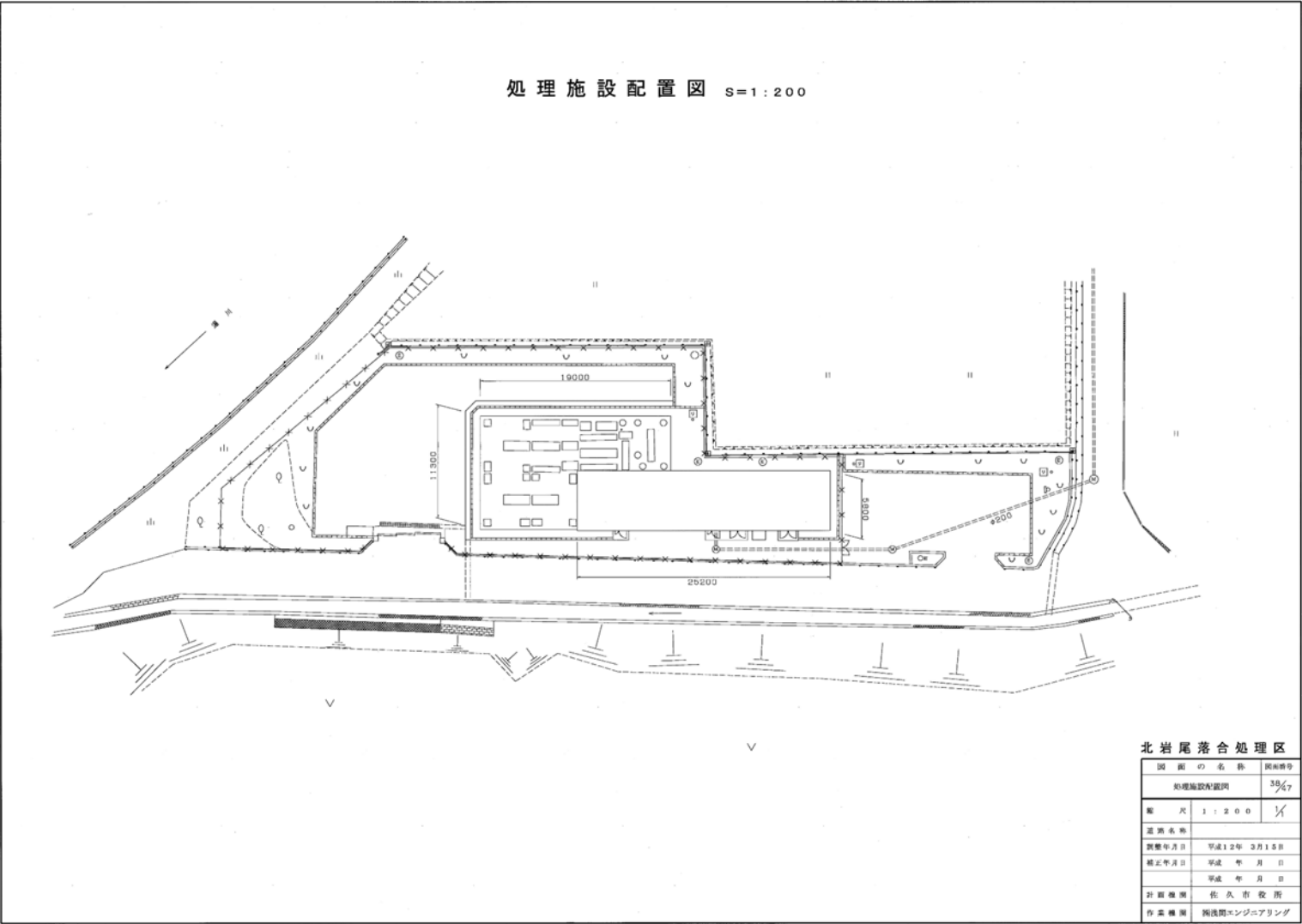


図 2.16 北岩尾落合処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

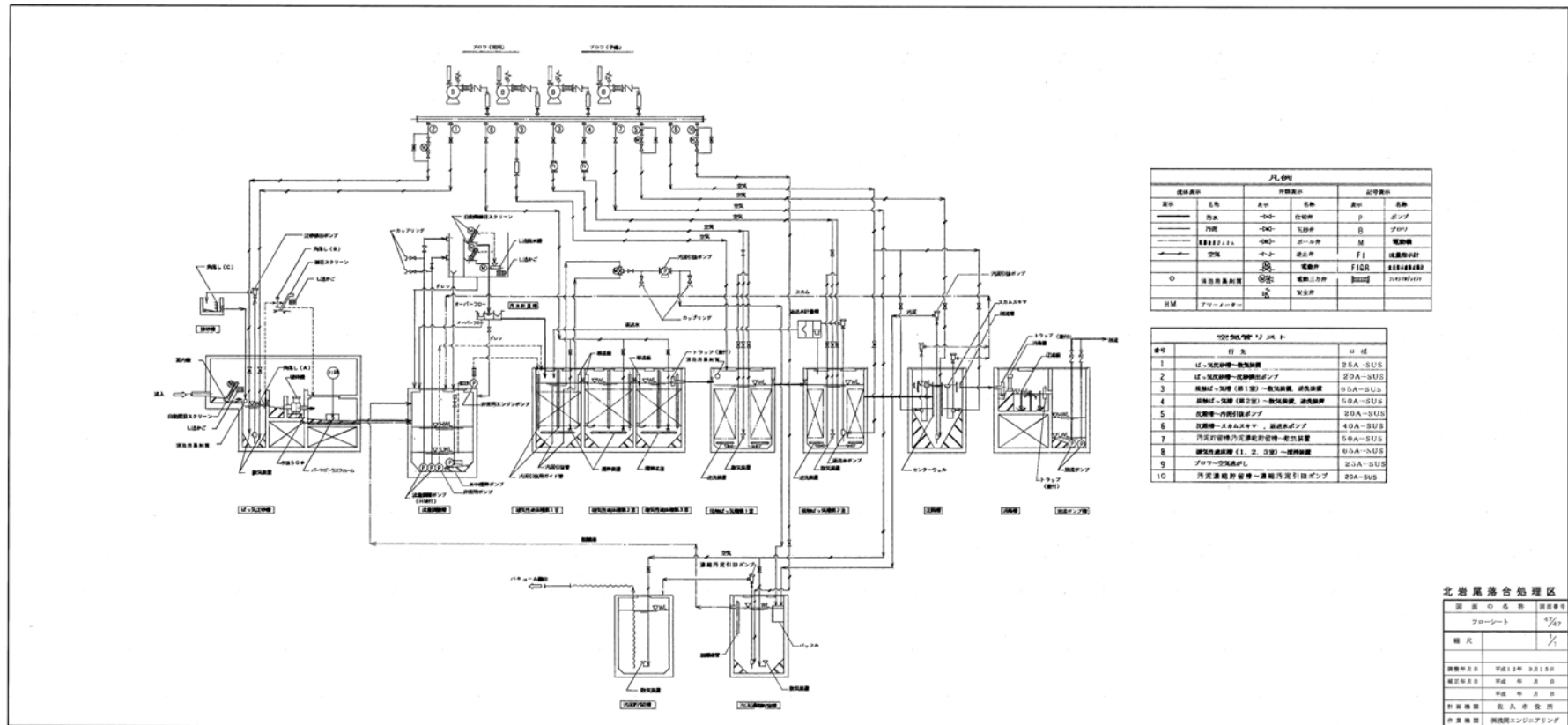


図 2.17 北岩尾落合処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

f) 岸野処理場（農業集落排水）

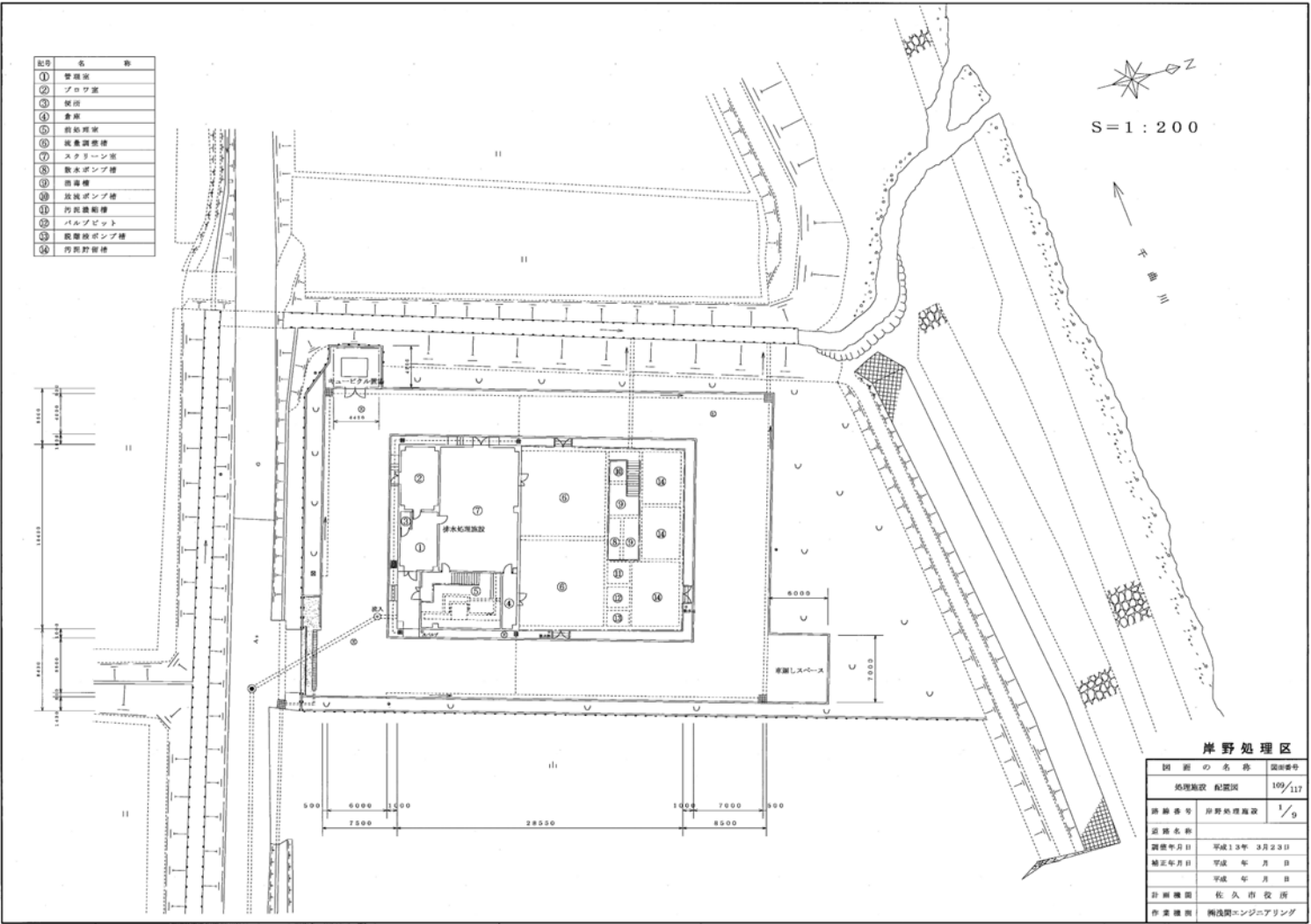


図 2.18 岸野処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

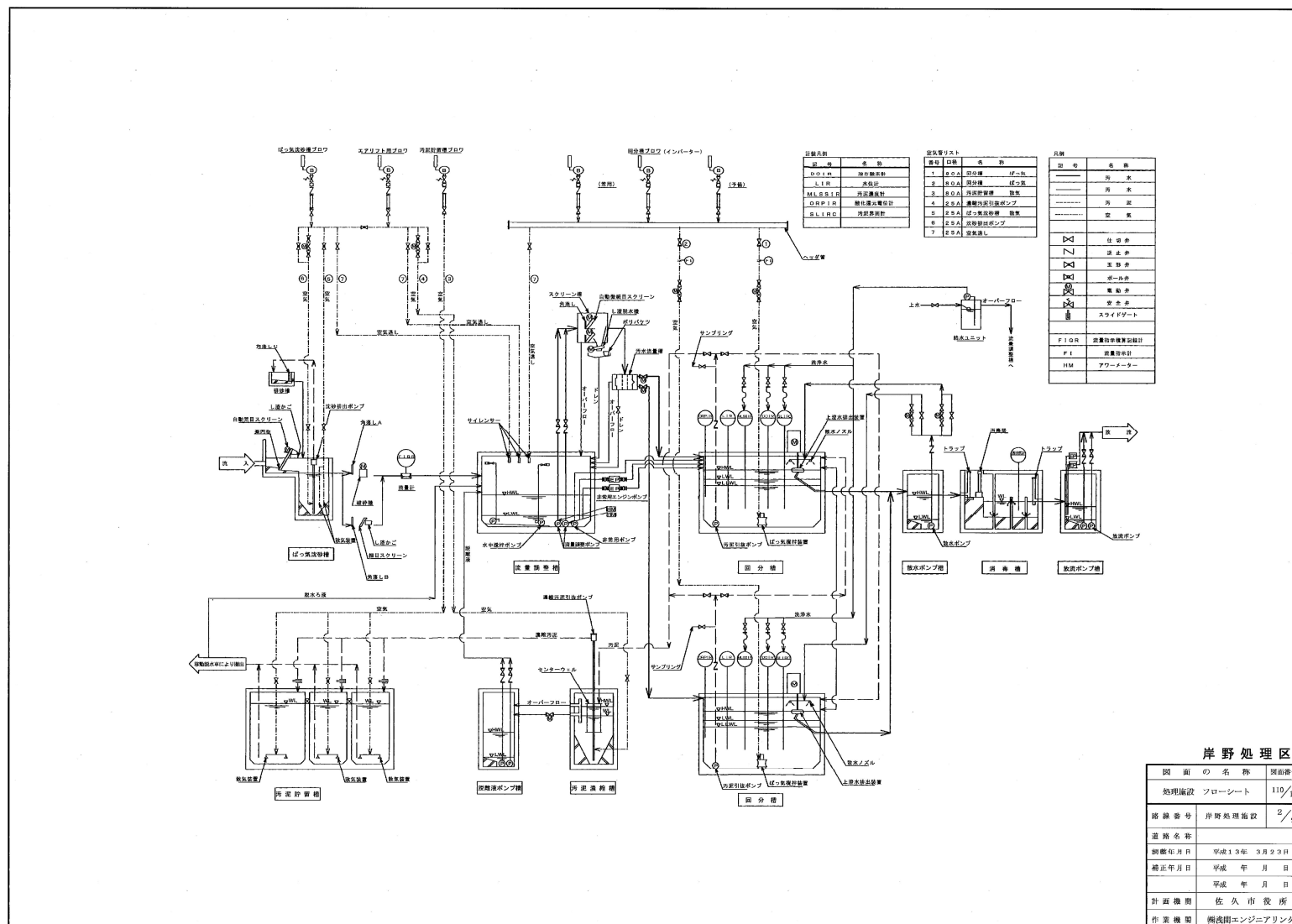


図 2.19 岸野処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

g) 上平尾処理場（農業集落排水）

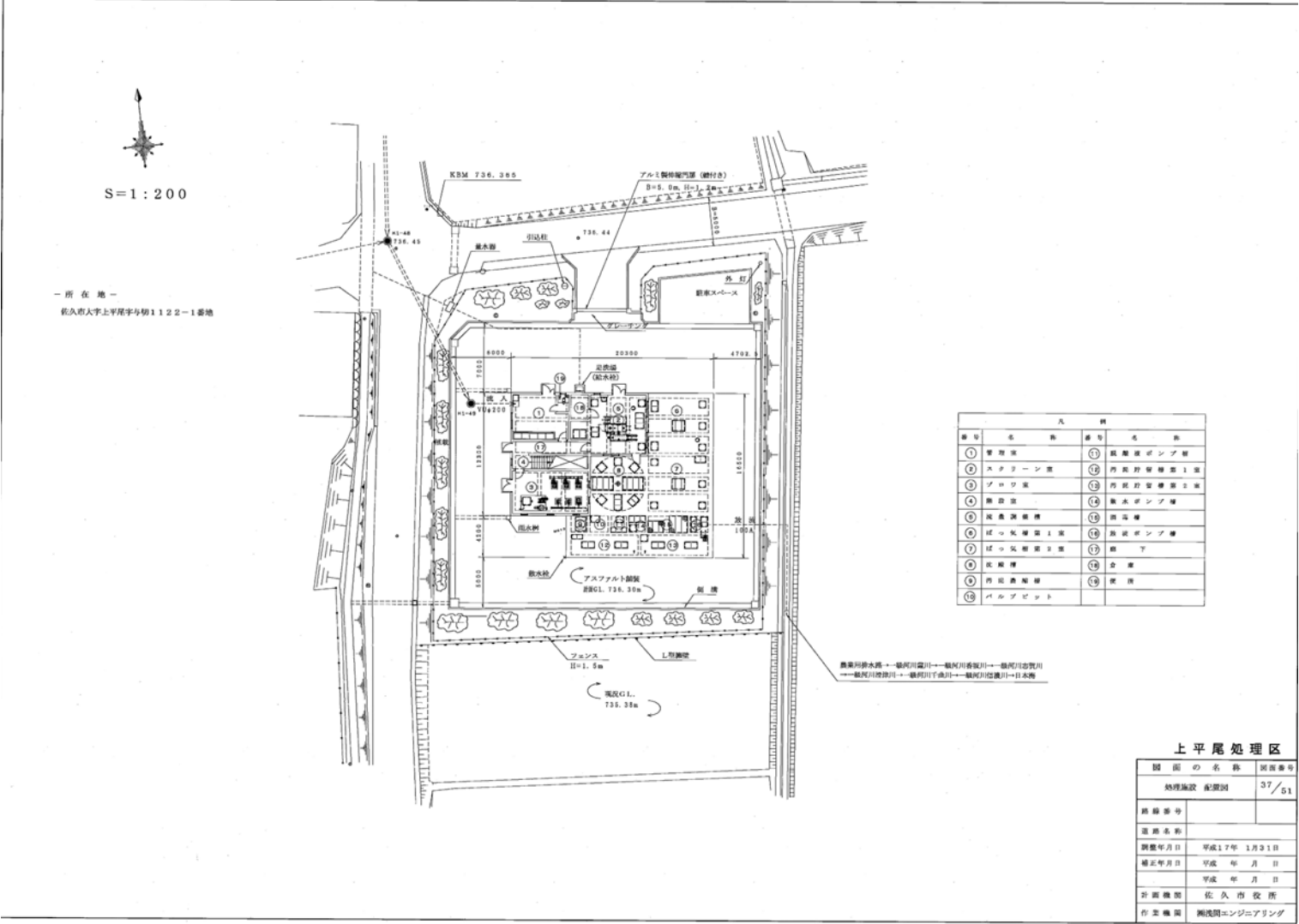


図 2.20 上平尾処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

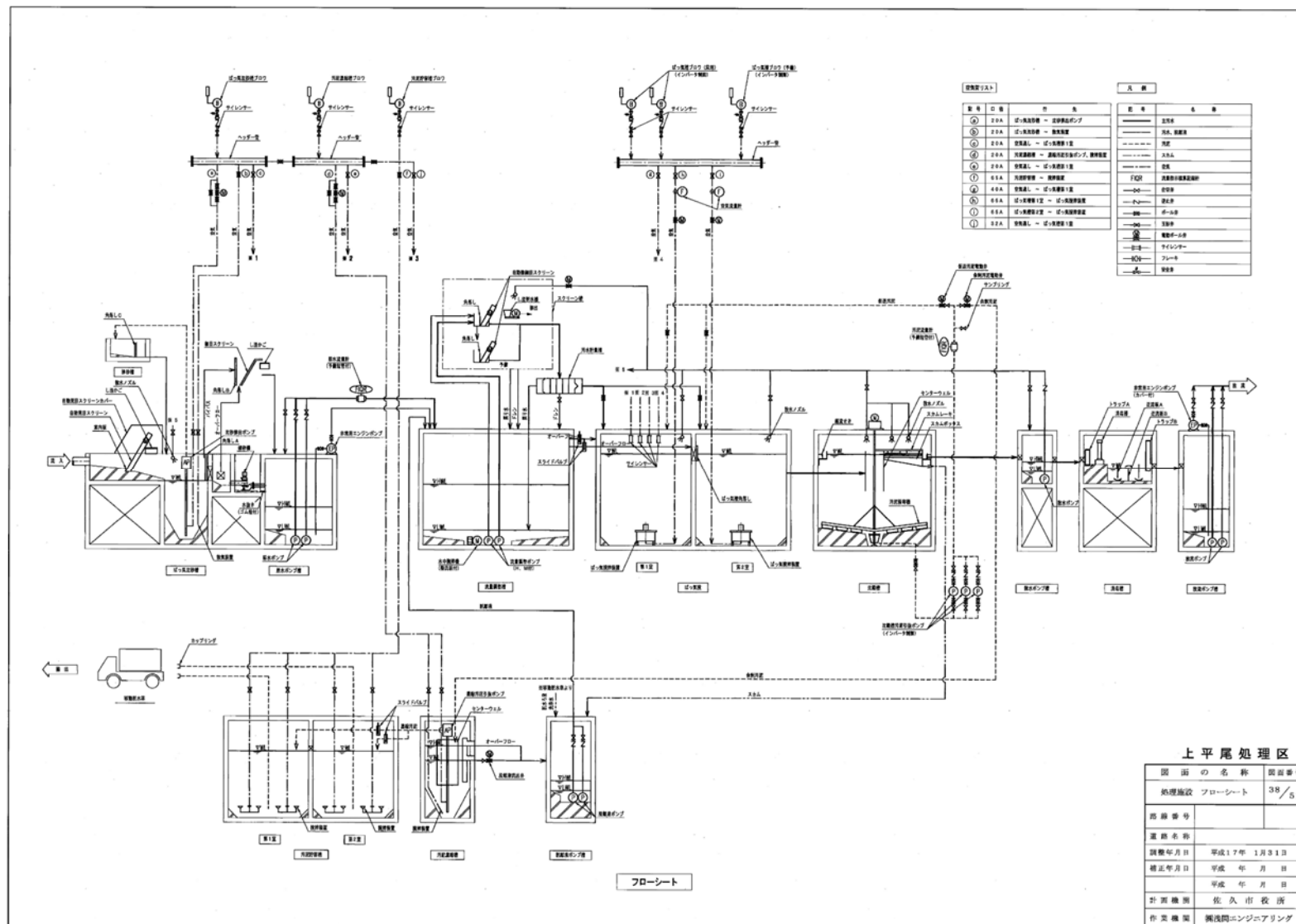
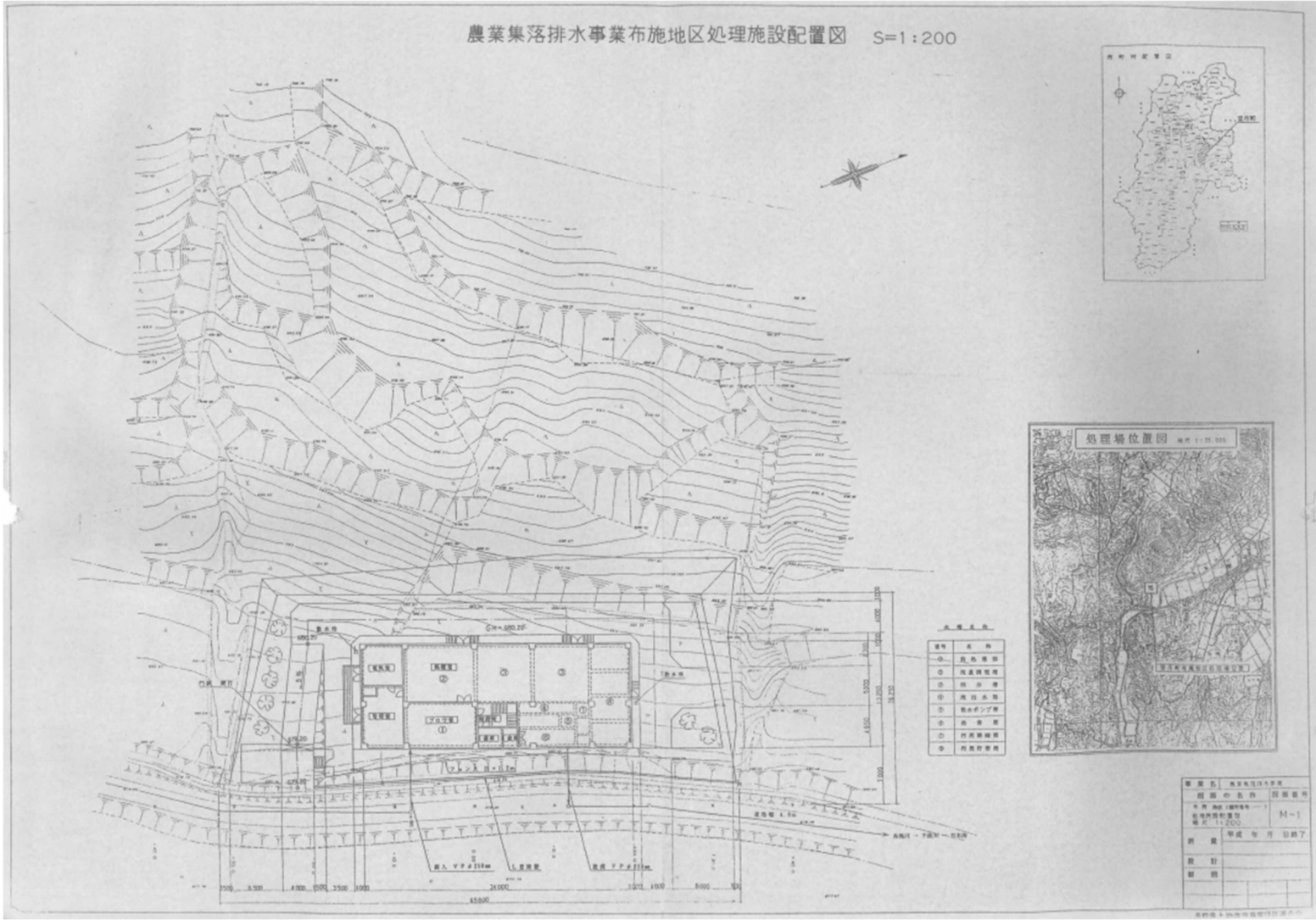
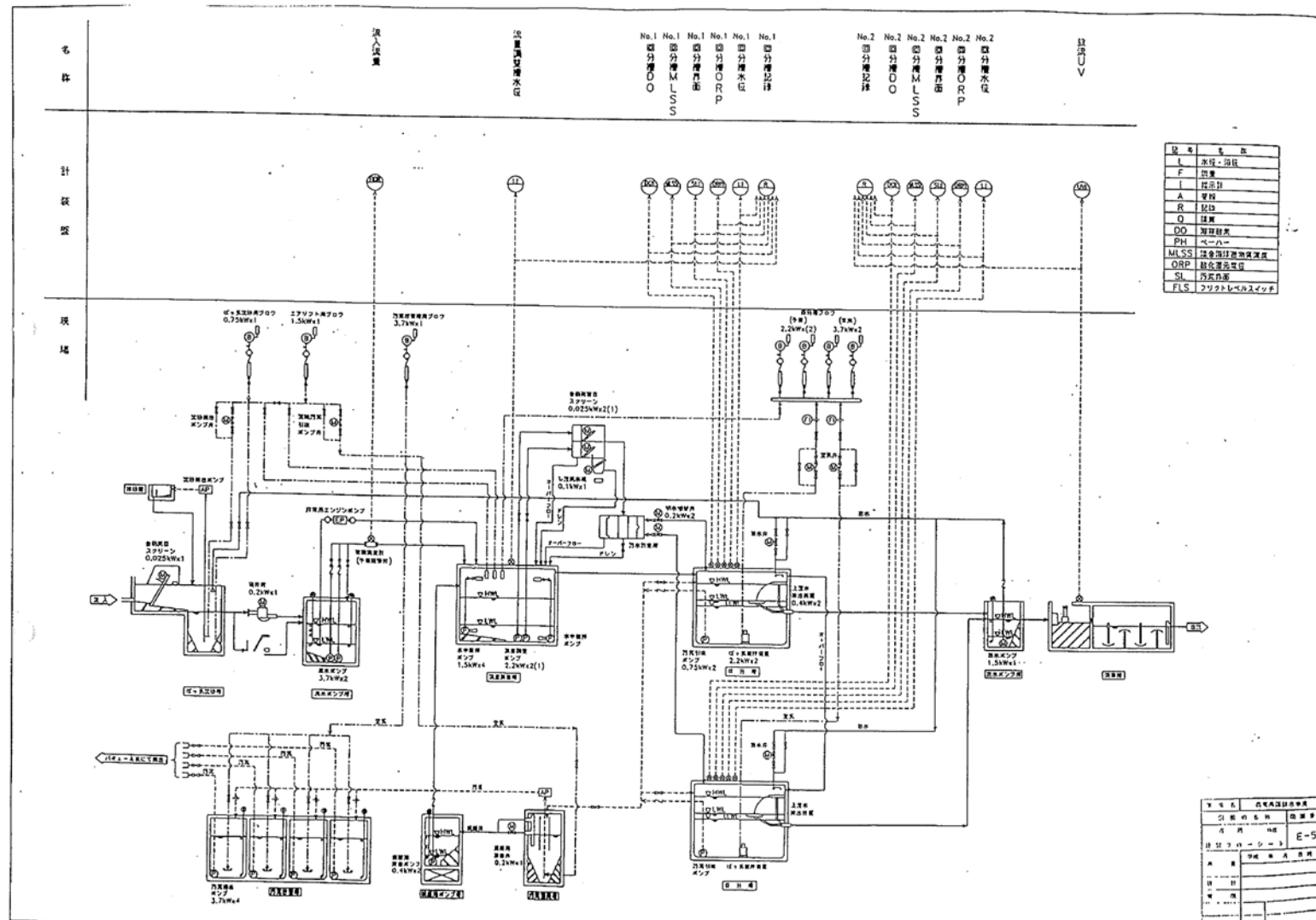


図 2.21 上平尾処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

h) 布施处理場（農業集落排水）





i) 藤卷处理場（小規模集落排水）

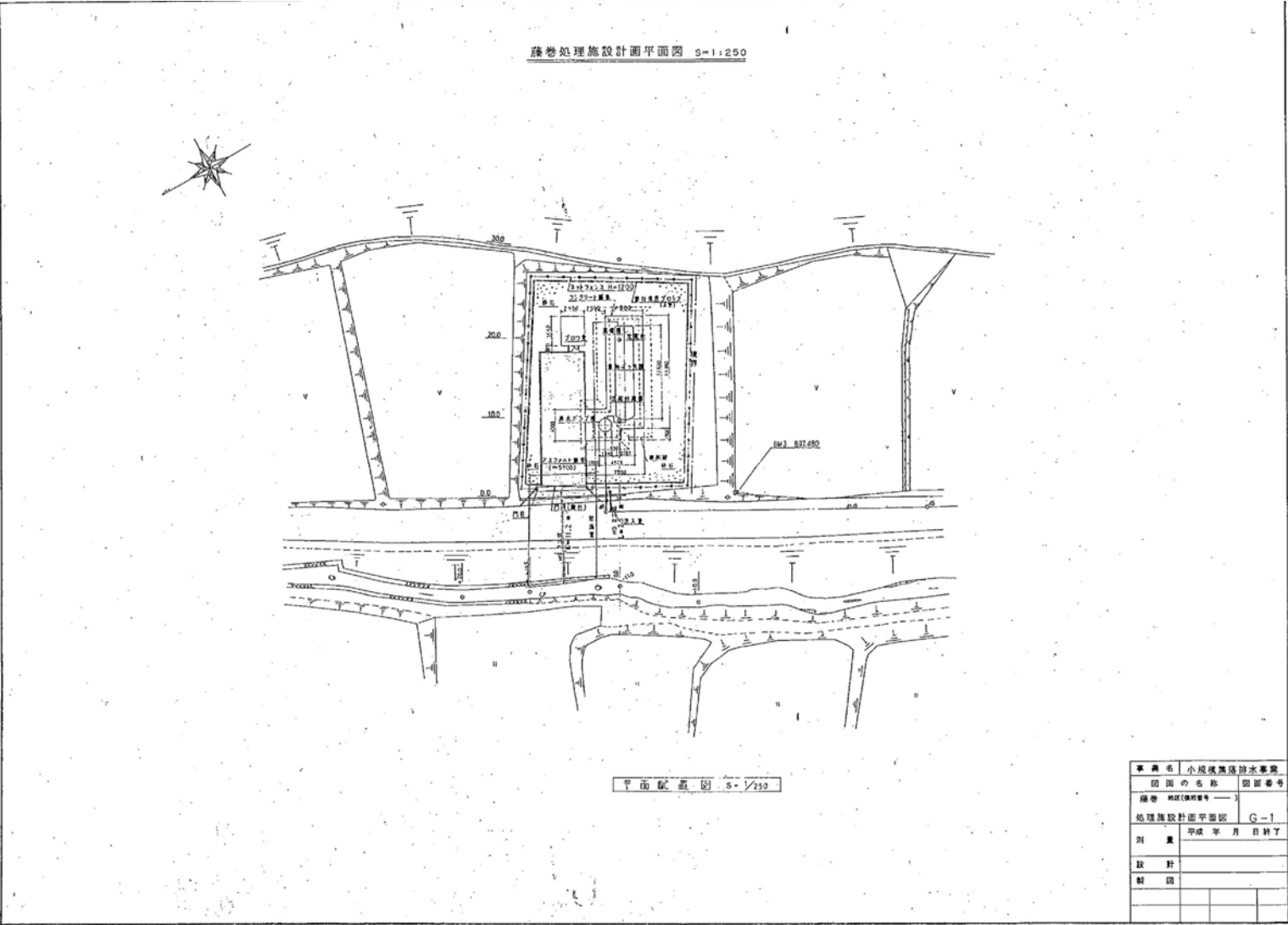


図 2.24 藤巻処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

j) 平井処理場（コミュニティ・プラント）

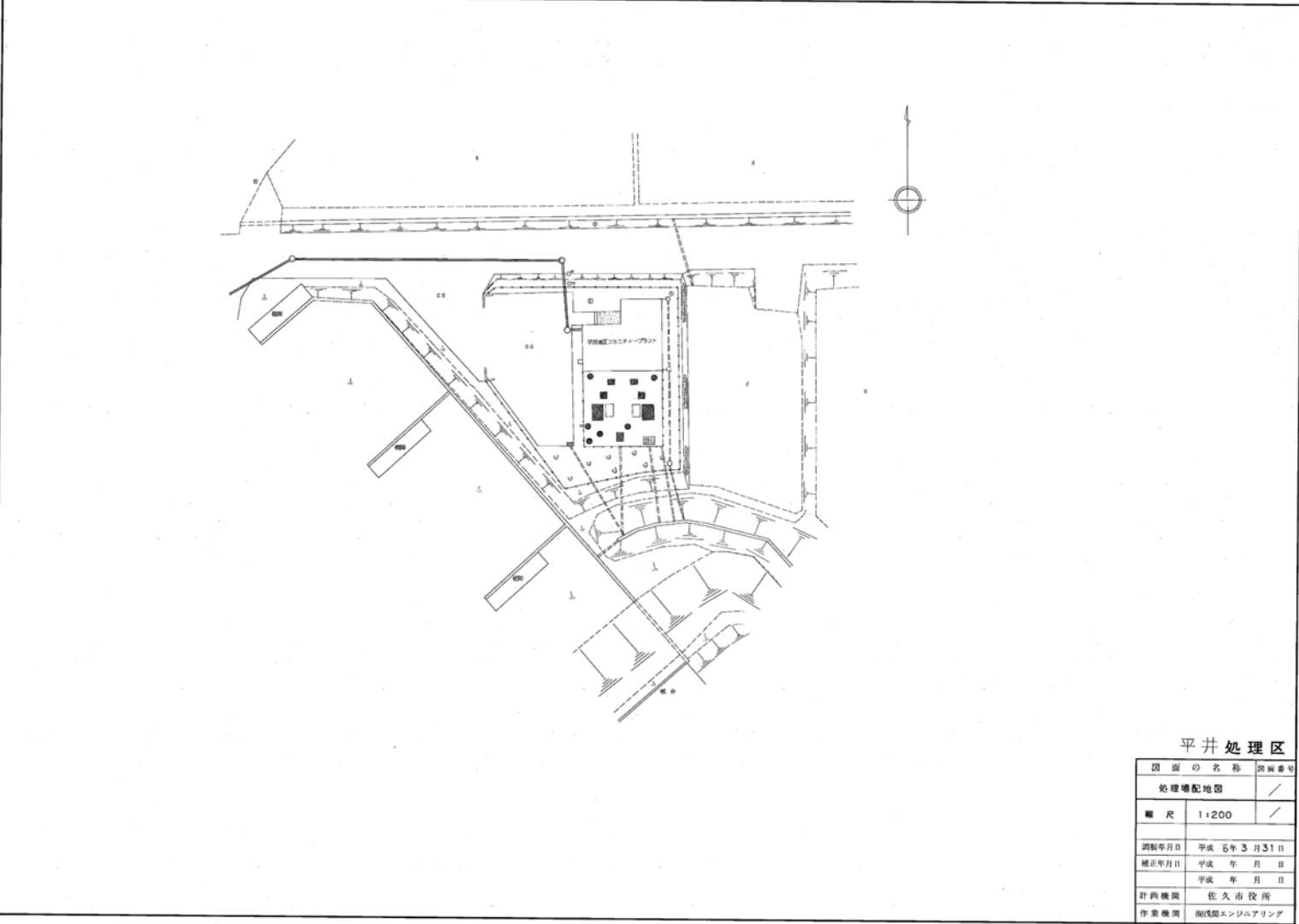


図 2.25 平井処理区農業集落排水処理施設 処理場配置図

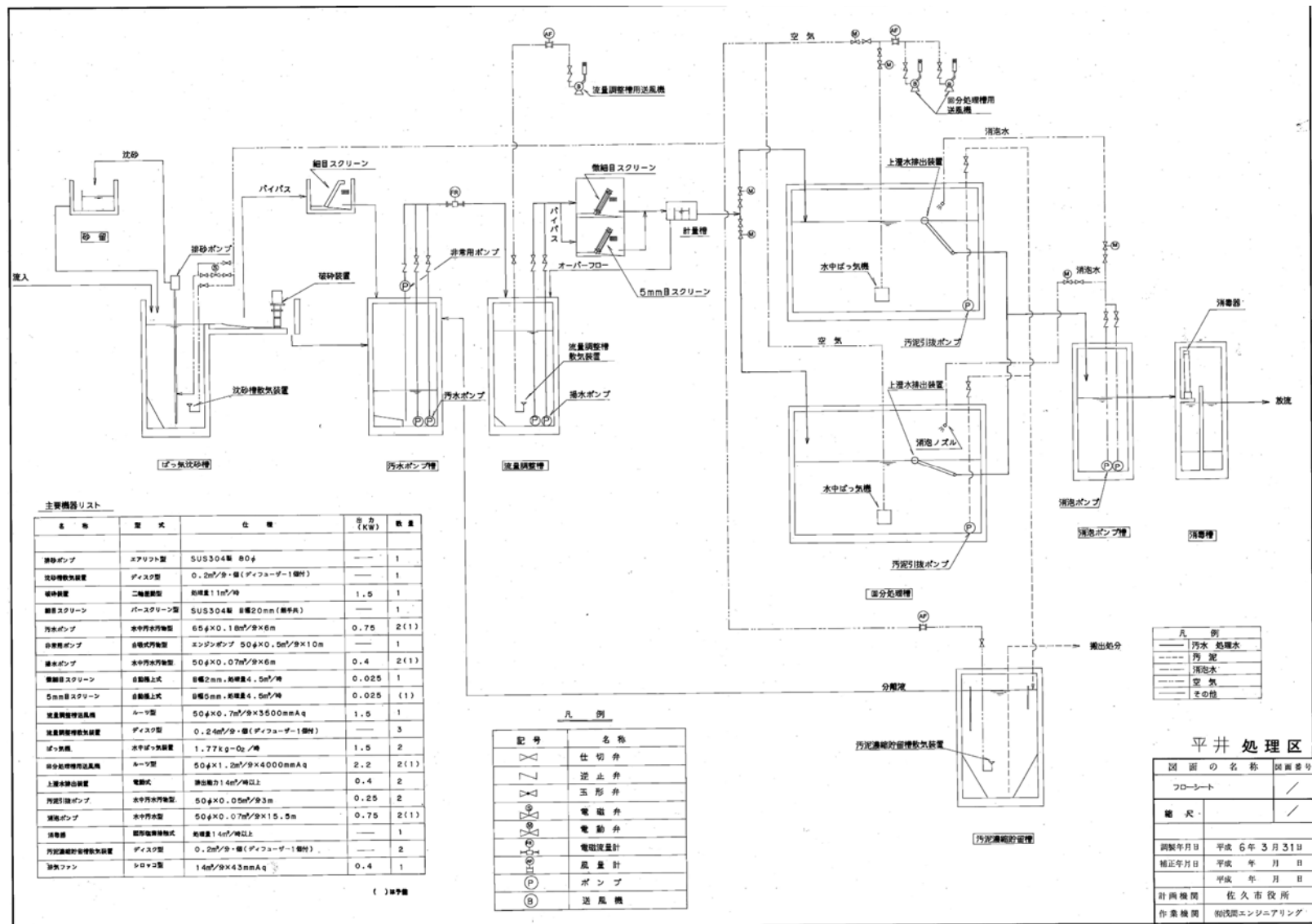


図 2.26 平井処理区農業集落排水処理施設 処理フロー図

3 業務の定義及び想定数量

各業務の定義を以下に示します。なお、今後の業務範囲等の検討により、定義及び想定数量が変更になる場合があります。

3.1 管路施設の想定数量

表 3.1 業務の定義及び想定数量（管路）（1/2）

維持管理レベル	業務区分		定義	想定数量	数量根拠
—	統括管理業務		各業務間の技術的視点での一元的な統括管理を行い、技術的業務を効率的かつ効果的に遂行する。	—	—
管理保全業務	住民対応業務	事故対応	住民等からの道路陥没、管路閉塞等の連絡を受けた際に現地へ急行し、応急対応を行う。また、必要に応じてテレビカメラ調査等による原因調査等も実施し、市へ報告する。	公共・特環 緊急清掃 5 件/年(本管清掃等) 緊急修繕 34 件/年(マンホール、舗装修繕等) 農集他 緊急清掃 1 件/年(本管清掃等) 緊急修繕 3 件/年(マンホール、舗装修繕等)	R3-R6 実績
		住民対応	住民等からの問い合わせに対応する業務 管路施設に起因する道路陥没、悪臭、漏水等の苦情要望受付	事故対応件数 + α	整理記録なし
		他工事立会等	他工事事業者等からの立ち合い要請への対応	—	—
	問題解決	不明水対策	特定の問題解決を目的に一定期間をかけ計画的に行う業務。 流量調査の実施、対策計画の策定など。	—	—
		悪臭対策		—	—
	計画的業務	点検調査業務	点検：マンホール内部からの目視や、地上からマンホール内に管口テレビカメラを挿入する方法等により、異状の有無を確認する。 調査：管内に潜行する調査員による目視、または、下水道管渠用テレビカメラを挿入する方法等により、詳細な劣化状況や動向等を定量的に確認するとともに、原因を検討する。	公共・特環 594 万円/年 農集他 なし	R5-R9 SM 計画 (年平均)
		定期清掃業務	清掃：施設内の堆積物を除去し、下水道管路施設の計画された流下能力を確保する業務。 清掃業務に伴う廃棄物の運搬・処分を含む	公共・特環 年 3 回 伏越管渠 ($\phi 200 \sim \phi 250$) 144m 特殊マンホール 4 箇所 農集他 なし	R3-R6 実績
		計画修繕業務	修繕：老朽化した施設又は故障若しくは毀損した施設を修理して、下水道の機能を維持すること。	計画なし	—
		台帳システムへの情報登録業務	市が保有する台帳システムへの入力作業及び入力補助業務	入力情報（参考） ・長寿命化・改築情報 ・日常的維持管理情報 ・苦情情報 ・災害対応情報	

表 3.2 業務の定義及び想定数量（管路）（2/2）

維持 管理 レベル	業務区分	定義	想定数量	数量根拠
災害対応 業務	被災状況把握 業務	地震又は風水害等による下水道管路施設の被災時に行う緊急的な対応業務。 被災状況の確認、二次災害を防止するための緊急措置等、地方公共団体による対応を支援するもの。	災害発生時	—
	緊急措置対応 業務			—
レ ベ ル 3.5	更新計画 (ストックマネ ジメント計画) 策定業務	下水道ストックマネジメント支援制度により事業を実施するための計画であり、次の 4 項目について記載が必要である。①ストックマネジメント実施の基本方針、②施設の管理区分の設定、③改築実施計画（計画期間は 5 年以内とする。）、④ストックマネジメントの導入によるコスト削減効果	1 回/5 年	—
	コンストラク ション・マネ ジメント	工事における業務を管理者側に立って技術的な中立性を保ちながらマネジメントを行う業務	—	—
	改築設計業務	下記改築工事に係る設計業務	公共・特環 692 万円/年 農集他 なし	R5-R9 SM 計画 (5 ヶ年平均)
	改築工事 (更生)	排水区域の拡張等に起因しない「対象施設」の全部若しくは一部の再建設又は取替えを行うこと。 ①更新：改築のうち、「対象施設」の全部の再建設又は取替えを行うこと。	公共・特環 104 百万円/年 農集他 なし	R5-R9 SM 計画 (5 ヶ年平均)
	改築工事 (掘削)	②長寿命化対策：改築のうち、「対象施設」の一部の再建設又は取替えを行うことであって、更生工法あるいは部分取替え等により既存のストックを活用し、耐用年数の延伸に寄与するもの。		

3.2 処理場等の想定数量

表 3.3 業務の定義及び想定数量（処理場等）（1/3）

維持 管理 レベル	業務区分	想定事業内容・数量 (要求水準書及び仕様書記載内容・過去実績)
一	統括管理業務	管路施設における統括管理業務と同様
レ ベ ル 1	運転監視操作業務	設備等を適正に運転するための常駐（交替勤務）して行う以下の作業。 ア中央監視室における監視、操作、記録等。 イ現場操作盤等における操作等。 ウ管理日報の作成、電気室内における計器類の指示値の記録。 エ中央監視室内の整理等。 オ運転業務計画の作成。 カ設備故障及び処理機能異常時における応急措置並びに原因調査報告。 キ異常出水時の樋門の操作。 ク保守点検業務に伴う機器の運転及び操作。 ケ第三者の行う工事等に伴う機器の運転及び操作。 コ建築付帯設備の運転及び操作。 サ汚泥脱水操作 シマンホールポンプ場遠隔監視業務 ス警備業務
	保守点検業務	ア日常点検 運転状態の機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見するため、原則として毎日行う点検。主として目視確認、調整及び記録等。 イ定期点検 定期機器及び設備の損傷、腐食及び摩耗状況を把握し、修理、修繕等の保全計画を立てるため、1週、1か月、3か月、6か月、1年等期間を定めて行う点検。 ウ臨時点検 日常及び定期点検以外に行う臨時的な点検及び記録等。故障警報、機器及び設備等の異常に対して状況を確認するために実施。 エ法の定めに従い、場内で自ら行う点検及び記録等。 オ簡易な故障修理。 特殊な機器部品でなく、高度な専門技術又は外部からの人的応援を必要としないで、処置できる修理。 カ点検設備等周辺の清掃。 機器及び設備の据付場所、水路、トラフ等の清掃及び補修塗装等。 キ点検業務計画。 ク機器の予備品及び特殊工具の管理。 ケ測定器及び試験用器具等の管理。 コ終末処理場の運転に係る薬品等の搬入に伴う立ち会い。 サ運転操作に伴う操作票の作成。 シ運転業務報告書の作成。 ス緊急時、災害時及び分解点検機器の特別巡視。 セ危険物等の取扱い。 ソ活性炭交換業務 タ電気設備保安業務 チ消防設備保守業務 ツ電話交換機保守点検業務 テ計装設備点検業務 ト中央制御設備点検業務
	場内整備業務	ア佐久市下水道管理センター外の場合内整備 イ庁舎清掃業務 ウ貯水槽清掃業務 エマンホールポンプ場清掃業務 オ伏越管路清掃業務
	汚泥運搬処分業務	アし渣・沈砂運搬処分業務 イ特環汚泥運搬処分業務

表 3.4 業務の定義及び想定数量（処理場等）（2/3）

維持管理レベル	業務区分	想定事業内容・数量 (要求水準書及び仕様書記載内容・過去実績)
レベル 1	水質・汚泥・臭気分析業務	処理場の適正な維持管理のために行う水質試験に関する以下の作業。 ア水質試験業務（法定試験に関しては補助作業）。 イデータの整理等。 ウ試験用機器の保守管理。 エ水質管理に係る報告書の作成。 オ汚泥放射能検査に伴うサンプル汚泥採取。
	料金徴収・経理等業務	ア受付業務（電話交換、郵便、受付） イ検針業務 ウ下水道料金等の徴収業務（下水道料金等の徴収、滞納整理） エ公営企業会経理業務 オ電算処理業務 カア～オに付帯する業務
レベル 2	消耗品及び備品調達業務	運転維持管理に要する消耗品及び備品の管理及び調達を行う。
	薬品調達業務	運転維持管理に要する薬品について管理及び調達を行う。
	電力及び燃料調達業務	運転維持管理に要する燃料、電力について管理及び調達を行う。

表 3.5 業務の定義及び想定数量（処理場等）（3/3）

維持管理レベル	業務区分	定義	想定数量	数量根拠
レベル 2.5～3	修繕計画案作成業務	下水道ストックマネジメント計画策定による修繕計画案の策定業務	1 回/年	—
	修繕業務	問題が見つかった個所を部分的に補強あるいは交換する業務	1,000 万円/年 (1 件あたりの上限なし)	R6 実績
レベル 3.5	更新計画(ストックマネジメント計画)策定業務	下水道ストックマネジメント支援制度により事業を実施するための計画であり、次の 4 項目について記載が必要である。①ストックマネジメント実施の基本方針、②施設の管理区分の設定、③改築実施計画（計画期間は 5 年以内とする。）、④ストックマネジメントの導入によるコスト縮減効果	1 回/5 年	—
	コンストラクション・マネジメント業務	工事における業務を管理者側に立って技術的な中立性を保ちながらマネジメントを行う業務	—	—
	改築実施設計業務	下記改築工事に係る設計業務	20 百万円/年	R5-R9 SM 計画 (5 ヶ年平均)
	改築工事	排水区域の拡張等に起因しない「対象施設」の全部若しくは一部の再建設又は取替えを行うこと。 ①更新：改築のうち、「対象施設」の全部の再建設又は取替えを行うこと。 ②長寿命化対策：改築のうち、「対象施設」の一部の再建設又は取替えを行うことであって、更生工法あるいは部分取替え等により既存のストックを活用し、耐用年数の延伸に寄与するもの。	488 百万円/年	R5-R9 SM 計画 (5 ヶ年平均)

3.3 集排等（農集・小規模・コミュニティ・プラント）の想定数量

表 3.6 業務の定義及び想定数量（集排等）

維持管理レベル	業務区分	定義	想定数量
—	統括管理業務	管路施設における統括管理業務と同様	—
レベル 1	運転監視操作業務	<p>ア施設に係わる機器や装置の故障を未然に防ぐとともに、それらの状況の早期発見及び回復に努め、耐用度の維持向上を図る。</p> <p>イ処理施設の機器・装置及び処理槽等やその周辺の洗浄清掃を行い、公共施設として不衛生な状態とならないよう努める。</p> <p>ウ処理水質に係わる水質汚濁防止法第3条第3項に基づく県条例による上乗せ排水基準に適合する放流水質を維持するとともに、処理施設に認められた放流水質に適合する処理性能を技術的な管理目標値として、適正な処理機能の維持を目的とした運転管理を行う。</p> <p>エ処理施設より発生する臭気について、設置されている臭気に係わる機器・装置の適性かつ有効な活用を図るとともに、管理技術を駆使し周辺住民に対して苦情等を与えるような臭気の発生を防止し、地域に信頼される施設であることに努める。</p> <p>オ処理施設の管理上から考察されるさまざまな問題点や状況を的確に市に報告及び提言を行い、施設の総合的な運転管理費の低減と耐用年数の維持向上を図るとともに、適正な施設の更新計画等の樹立を補う役割を果たすよう努める。</p> <p>カ水質管理業務 放流水質を確保するための適切な運転管理を行うとともに、簡易な現場水質試験を必要な頻度により行う。</p>	—
	保守点検業務	<p>ア処理施設の正常な機能を維持し、良好な水質を得るために保守点検管理（異常の有無の感知、運転状況の把握、各種記録、清掃保守、点検保守、汚泥の引抜等）</p> <p>イ遠方監視システムの保守管理業務 「佐久地区生活排水共同処理施設遠方監視システム」（以下、「遠方監視システム」という。）の性能、及び機能を安定して維持し、良好な運転状態を保つ。</p> <p>ウ自家用電気工作物の保守管理業務 市が設置した自家用電気工作物の保安管理業務</p>	—
	場内整備業務	<p>ア施設内の剪定業務</p> <p>イマンホールポンプ場清掃業務</p>	—
レベル 2	消耗品及び備品調達業務	運転維持管理に要する消耗品及び備品の管理及び調達を行う。	—
	薬品調達業務	運転維持管理に要する薬品について管理及び調達を行う。	—
	電力及び燃料調達業務	運転維持管理に要する燃料、電力について管理及び調達を行う。	—
レベル 2.5～3	修繕計画案作成業務	下水道ストックマネジメント計画策定による修繕計画案の策定業務	1回/年
	修繕業務	問題が見つかった個所を部分的に補強あるいは交換する業務	<p>佐久地区 定期修繕 700 万円/年 緊急修繕 300 万円/年 （1 件あたりの上限なし）</p> <p>望月地区 緊急・機能維持修繕 100 万円/年 （1 件あたりの上限なし）</p>

4 支援型/実施型における更新事業フロー（案）

更新計画策定及び更新（改築）実施業務について、支援型/実施型のそれぞれにおいて想定される事業フローを以下に示します。

